

2 母親の社会参加と子どもの教育に関する調査研究

| | |
|--------------|----|
| 1 基礎分析 | 29 |
| 2 詳細分析 | 37 |
| 考察 | 47 |

はじめに

本報告は、平成 27 年 2 月に実施した「母親の社会参加と子どもの教育に関する調査」について、集計結果と研究成果の一部をまとめたものである。

この調査は、文部科学省・日本学術振興会の JSPS 科学研究費（課題番号 25285154）の助成を受け、せたがや自治政策研究所*と国立大学法人・九州工業大学大学院情報工学研究院 安河内恵子研究室との共同研究として実施されたものである。調査目的は、母親の就業状況や社会への参加状況、子どもの教育にかかわる現状を明らかにし、母親の社会参加をめぐる生活課題等を研究することにある。

世田谷区と九州工業大学とは、これまでも共同研究を行ってきており、平成 19 年に実施した、少子化と就業女性の支援ネットワークに関する共同調査は、世田谷区における少子化の状況を踏まえ、育児期における女性の生活と少子化の関係などを課題とし、政策形成等における基礎的なデータを提供するものとなった。

今回調査では、せたがや自治政策研究所と安河内恵子をはじめとする研究者 5 名とが、調査票の作成から分析まで共同して取り組んだ。実査は、世田谷区にお住まいの 16 歳から 22 歳の子どもの持つ母親のうち無作為で抽出した 7,000 人を対象に、平成 27 年 2 月に郵送法により行なわれ、回収率は、都市部にもかかわらず 46%という高い有効回収率をあげることができた。お忙しい中、ご回答くださった方々には、ご協力に心より感謝申し上げたい。

本報告では、調査結果の概要の報告、および、せたがや自治政策研究所による、より詳細な分析として、母親の地域参加と子どもの進学、母親の就労と子どもの就学時期との関連性、母親の家族に関する意識と子どもの進学等との関係についての考察がなされている。今後も、本調査に関する成果は、上記の研究者たちによって取りまとめられる予定である（『都市社会研究』次号特集に掲載予定）。本調査によって得られた母親と子育てをめぐる知見が、せたがや自治政策研究所の取り組む政策研究の基礎資料として、今後の世田谷区行政において活かされることがあれば、たいへん幸いである。

研究代表者 安河内 恵子
(九州工業大学大学院 情報工学研究院)

* 世田谷区の自治体シンクタンク

母親の社会参加と子どもの教育に関する調査研究

青木 務*

調査概要

本調査は、母親の就業状況や社会への参加状況、子どもの教育にかかわる現状を明らかにし、母親の社会参加をめぐる生活課題等を把握するための基礎研究として実施した。

調査では、世田谷区に居住する16歳から22歳の子どもがいる世帯の母親を無作為抽出して世帯主あてに調査票を郵送し、回答は母親に依頼した。

調査期間は、平成27年2月10日から2月24日で、3月20日到着分までを有効票として集計した。結果は、郵送した調査票7,000件のうち、返送された有効回収数が3,223件で、有効回答率は46.0%であった。

本稿では、調査結果の概要を紹介するとともに、せたがや自治政策研究所で行った分析を取り上げる。巻末には、調査票と集計結果に関する資料一式を掲載しているのので、それらも併せて参照されたい。

研究の枠組み

本稿は、2部構成とした。第1部は、調査の集計結果から回答者の基本属性や、全体の傾向について概観する。第2部は、詳細分析としてテーマ別に分析と考察をまとめた。具体的には、母親の地域参加と子どもの進学の関係、母親の就労と子どもの就学時期とどのような関係にあるのか、母親の家族に関する意識が地域参加や就労、それに子どもの進学との間に関連性があるのかという3つのテーマに取り組んだ。それぞれデータに基づいて実証的な立場から考察している。なお、詳細分析では、共同研究の利点を最大限に活かし、研究者が参加するこの調査の研究会にて、先行研究の紹介や分析手法に関するサポートを受けながら取り組んだ。

* せたがや自治政策研究所研究員

第1部 基礎分析

はじめに、世田谷区で子育て経験を持つ母親の実態について、調査結果から回答者の基本属性や意識について概観していく。なお、図表1～11までの回答数は3,223件となっている。

○世田谷区での居住年数

「問2 世田谷区にお住まいになって通算して何年になりますか」という問いでは、世田谷区在住の通算年数は、「25年以上」が27.8%と最も高く、次いで「15～20年未満」が19.3%、「20～25年未満」が18.9%となっている。

図表1 世田谷区での居住年数

| 問2 世田谷区にお住まいになって通算して何年になりますか。 | | | | | | |
|-------------------------------|---------|----------|----------|----------|-------|------|
| 5年未満 | 5～10年未満 | 10～15年未満 | 15～20年未満 | 20～25年未満 | 25年以上 | 無回答 |
| 7.8% | 10.4% | 15.6% | 19.3% | 18.9% | 27.8% | 0.3% |

○現在の住宅

「問4 現在のお住まいは次のどれにあたりますか」という問いには、「一戸建て持ち家」が58.4%と最も高く、次いで「分譲マンション」が19.0%、「賃貸マンション」が8.6%となっている。

図表2 現在の住宅

| 問4 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。 | | | | | | | | |
|-------------------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|------|------|
| 一戸建て 持ち家 | 一戸建て 借家 | 分譲 マンション | 賃貸 マンション | 都営・区営 住宅 | 社宅・ 官舎・寮 | アパート | その他 | 無回答 |
| 58.4% | 4.5% | 19.0% | 8.6% | 2.1% | 3.0% | 1.7% | 2.2% | 0.4% |

○本人：母親の年齢

回答者の年齢（問5）については、「50～54歳」が41.9%と最も高く、次いで「45～49歳」が34.7%、「55～59歳」が12.2%となっている。

図表3 母親の年齢

| 年齢 | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|------|
| 40～44歳 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55～59歳 | 60歳以上 | 無回答 |
| 7.8% | 34.7% | 41.9% | 12.2% | 1.9% | 1.4% |

○配偶者

「問 6 現在あなたに配偶者(内縁の夫も含む)はいらっしゃいますか」という問いには、「いる」が 90.9%と最も高く、次いで「いない(離別)」が 6.2%、「いない(死別)」が 2.3%となっている。

図表 4 配偶者

| 問 6 現在あなたに配偶者(内縁の夫も含む)はいらっしゃいますか。 | | | | |
|-----------------------------------|-------------|-------------|-------------------|------|
| いる | いない (離別) | いない (死別) | 結婚したことがない (未婚) | 無回答 |
| 90.9% | 6.2% | 2.3% | 0.3% | 0.3% |

○世帯構成

「問 7 あなたの世帯(同居しているご家族など)は次のうちどれにあたりますか」という問いには、「夫婦と子ども」が 76.1%と最も高く、次いで「3世代世帯」が 11.8%、「母子世帯」が 8.5%となっている。

図表 5 世帯構成

| 問 7 あなたの世帯(同居しているご家族など)は次のうちどれにあたりますか。 | | | | | | |
|--|------|--------|------|---------------------|------|------|
| 1人暮らし | 夫婦2人 | 夫婦と子ども | 母子世帯 | 3世代世帯 (親と夫婦と子ども) | その他 | 無回答 |
| 0.2% | 0.7% | 76.1% | 8.5% | 11.8% | 2.3% | 0.4% |

○子どもの人数

「問 8 お子さんは何人いらっしゃいますか」という問いには、「2人」が 57.6%と最も高く、次いで「3人」が 19.7%、「1人」が 19.0%となっている。

図表 6 子どもの人数

| 問 8 お子さんは何人いらっしゃいますか。 | | | | | |
|-----------------------|-------|-------|------|------|------|
| 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人以上 | 無回答 |
| 19.0% | 57.6% | 19.7% | 3.0% | 0.4% | 0.4% |

○長子の年齢

「問 9(1) 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか」という問いには、「22 歳以上」が 35.2%と最も高く、次いで「20 歳」が 12.4%、「19 歳」が 12.0%となっている。なお、長子の性別は、「男性」が 51.2%、「女性」が 48.2%となっている。

図表 7 長子の年齢

| (1) 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。 | | | | | | | | |
|--------------------------|------|------|------|-------|-------|-------|--------|------|
| 15 歳 | 16 歳 | 17 歳 | 18 歳 | 19 歳 | 20 歳 | 21 歳 | 22 歳以上 | 無回答 |
| 0.9% | 8.7% | 9.3% | 9.5% | 12.0% | 12.4% | 11.4% | 35.2% | 0.6% |

○長子の現在、通学している学校

「問 9(3) 一番上のお子さんが現在、通学している学校は、どちらですか」の問いには、「大学」が 42.7%と最も高く、次いで「高校」が 27.1%、「卒業した」が 24.1%となっている。

図表 8 長子の現在、通学している学校

| (3) 一番上のお子さんが 現在、通学している学校は、どちらですか。 | | | | | | | |
|------------------------------------|---------------|-------|------|-------|--------|-------|------|
| 高校 | 専門学校・ 専修学校 | 短大・高専 | 予備校 | 大学 | 特別支援学校 | 卒業した | 無回答 |
| 27.1% | 1.9% | 0.7% | 2.4% | 42.7% | 0.2% | 24.1% | 0.9% |

○長子の小学校前に通っていた施設

「問 9(5) 一番上のお子さんは、小学校入学前は、どちらにお通いでしたか」という問いには、長子が小学校入学前に通っていた場所は、「幼稚園」が 76.0%と最も高く、次いで「認可保育所」が 18.8%となっている。

図表 9 長子の小学校前に通っていた施設

| (5) 一番上のお子さんは、 小学校入学前は、どちらにお通いでしたか。 | | | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------|-------------|------------------|------|------|
| 認定こども園 | 幼稚園 | 認可保育所 | 認可外保育 施設 | どこにも通っ ていなかった | その他 | 無回答 |
| 0.3% | 76.0% | 18.8% | 0.9% | 0.2% | 2.9% | 0.7% |

○長子の小学校

問 9(6)の長子が通っていた小学校については、「公立小学校」が 85.0%と最も高く、次いで「私立小学校」が 11.5%、「国立小学校」が 2.3%となっている。

図表 10 長子の小学校

| (6) 小学校は、どちらに通学していましたか。 | | | | |
|-------------------------|-------|-------|--------|------|
| 公立小学校 | 国立小学校 | 私立小学校 | 特別支援学校 | 無回答 |
| 85.0% | 2.3% | 11.5% | 0.2% | 1.0% |

○長子の中学校受験状況

長子について、「問 9(8) 中学受験をなさいましたか」という問いに、「受験した」が 48.7%、「受験しなかった」が 50.0%となっている。

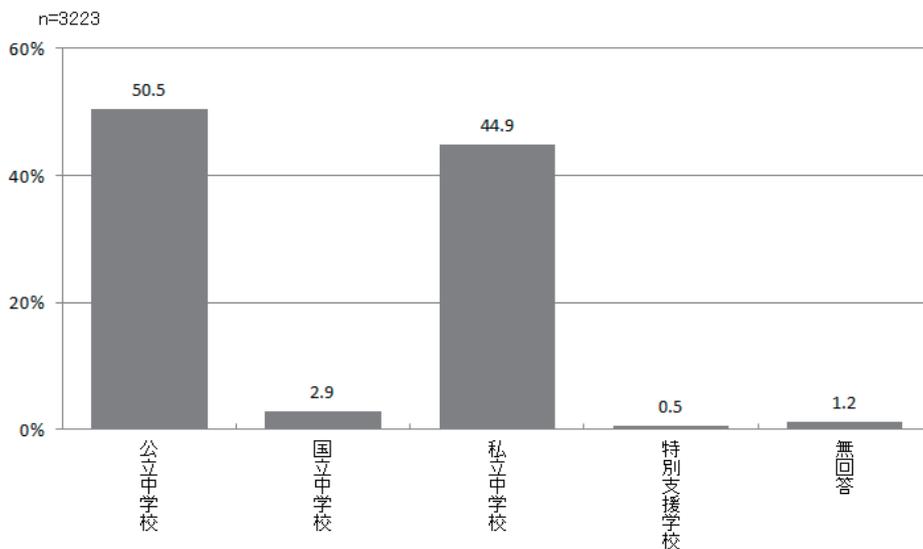
図表 11 長子の中学校受験状況

| (8) 中学受験をなさいましたか。 | | |
|-------------------|---------|------|
| 受験した | 受験しなかった | 無回答 |
| 48.7% | 50.0% | 1.3% |

○長子の中学校

「問 9(12) 一番上のお子さんは、どちらの中学校に通学していましたか」という問いには、「公立中学校」が 50.5%と最も高く、次いで「私立中学校」が 44.9%、「国立中学校」が 2.9%となっている。

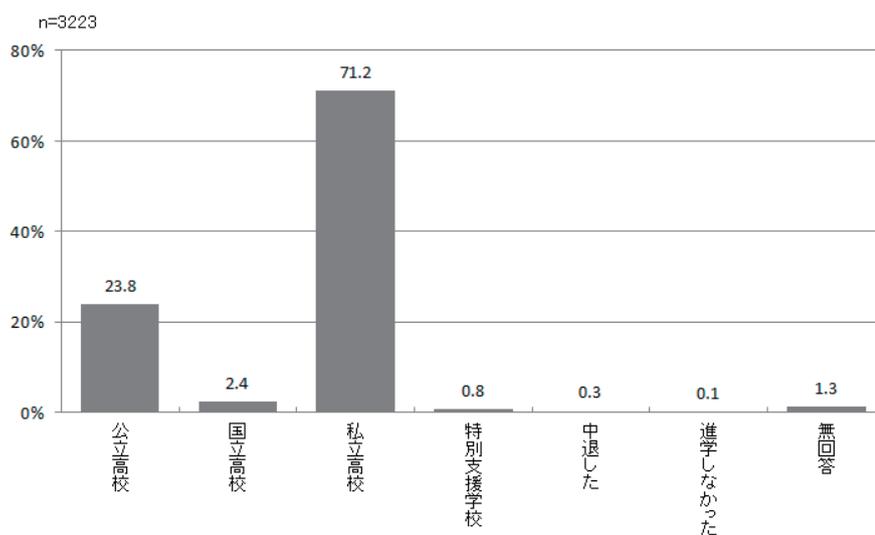
図表 12 長子の中学校



○長子の高校

「問 9(13) 一番上のお子さんは、どちらの高校に通学していましたか(していますか)」という問いについては、「私立高校」が 71.2%と最も高く、次いで「公立高校」が 23.8%、「国立高校」が 2.4%となっている。

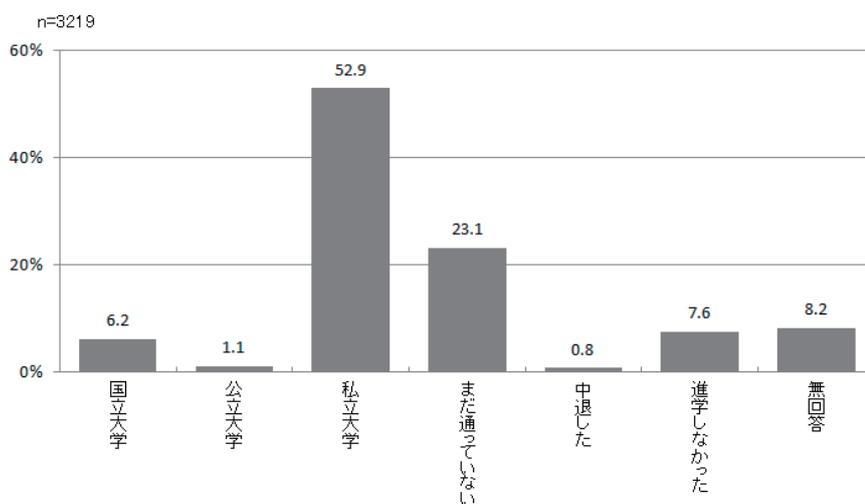
図表 13 長子の高校



○長子の大学

「問 9(16) 一番上のお子さんは、どちらの大学に通学していましたか(していますか)」という問いには、「私立大学」が 52.9%と最も高く、次いで「まだ通っていない」が 23.1%、「進学しなかった」が 7.6%となっている。

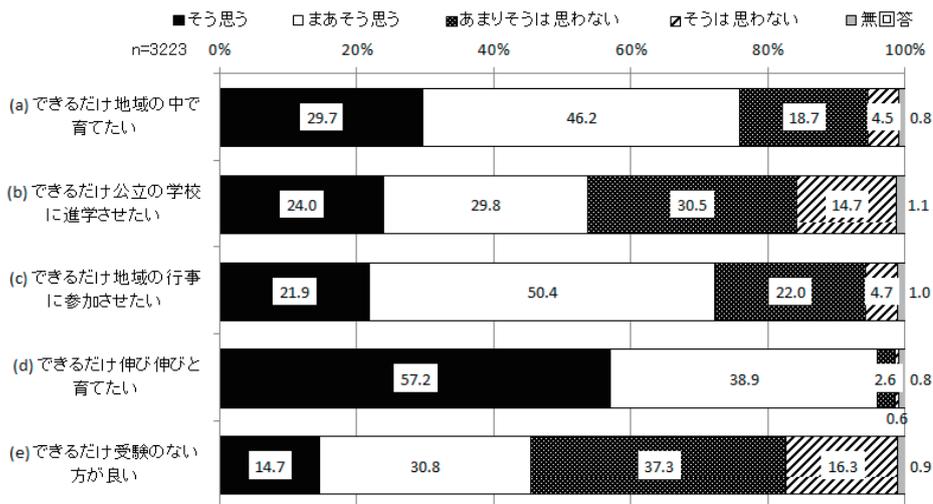
図表 14 長子の大学



○子育てに関する意見

「問 14 子育てや子どもの教育について、次にあげるような意見について、あなたはどのようにお考えですか」という問いに、「そう思う計」（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）が最も高いのは、「できるだけ伸び伸びと育てたい」が 96.1%となっており、次いで「できるだけ地域の中で育てたい」が 75.9%、「できるだけ地域の行事に参加させたい」が 72.3%となっている。

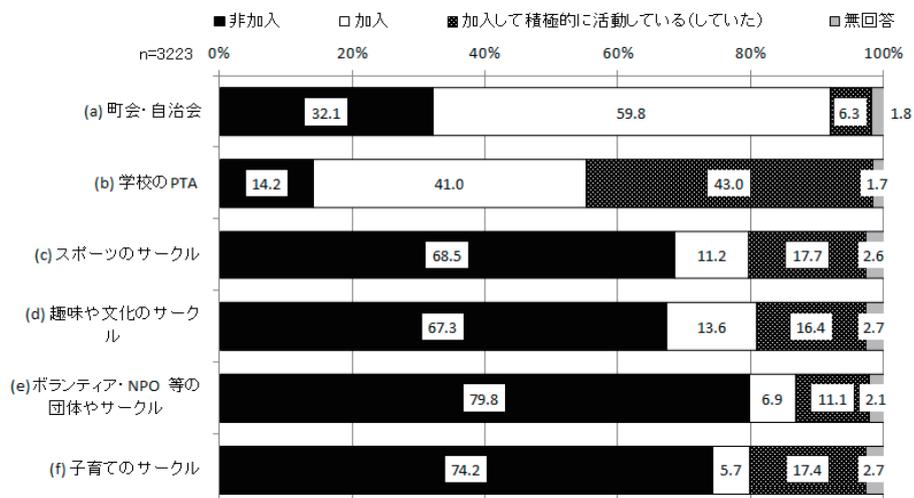
図表 15 子育てに関する意見



○母親の関わりある地域団体等

「問 15 あなたは次にあげる団体・組織に加入していますか」という問いに、「加入計」（「加入」と「加入して積極的に活動している」の合計）が最も高いのは、「学校の PTA」が 84.0%となっており、次いで「町会・自治会」が 66.1%、「趣味や文化のサークル」が 30.0%となっている。

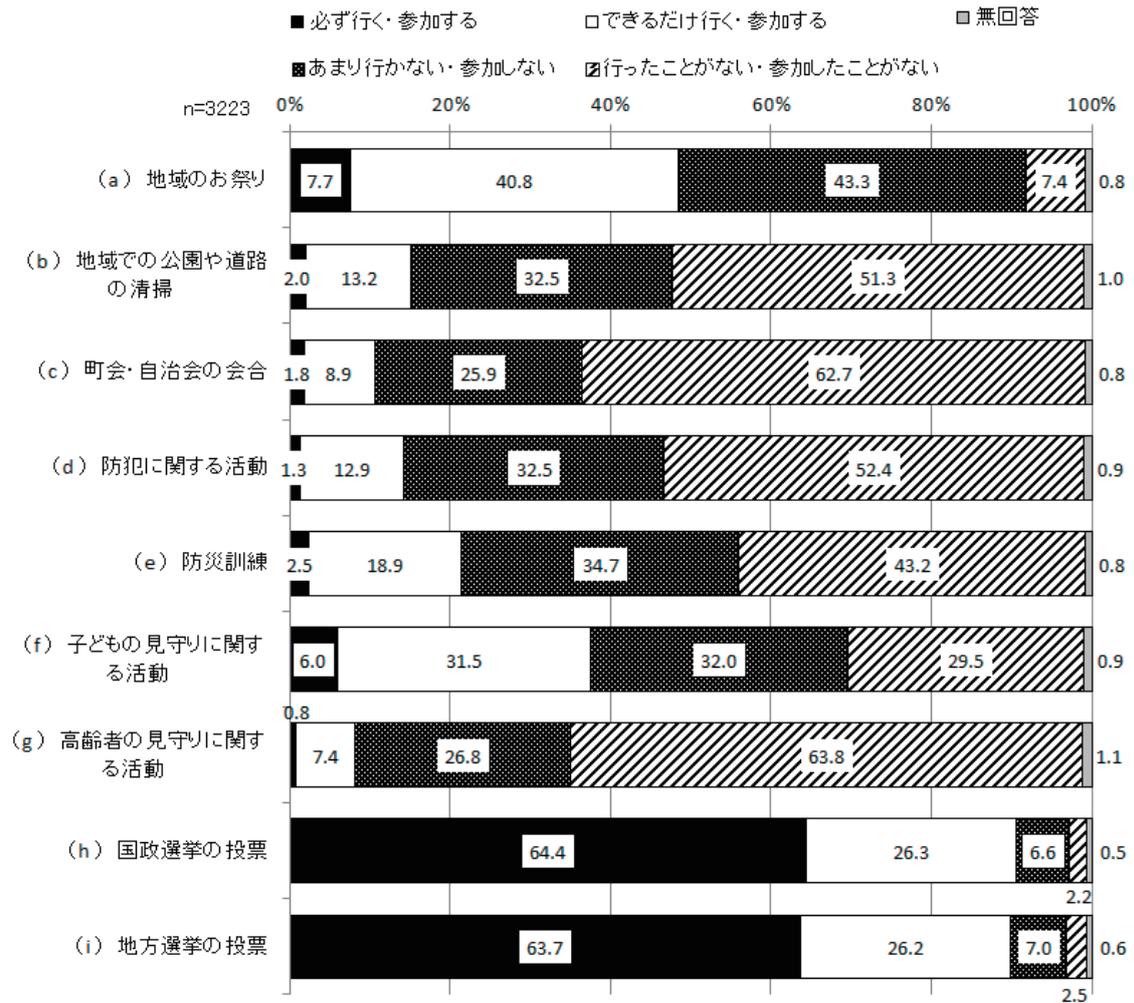
図表 16 母親の関わりある地域団体等



○母親の地域活動への参加状況

「問 16 次にあげる活動を、あなたはどの程度なさっていますか」という問いに、「行く・参加意向あり計」（「必ず行く・参加する」と「できるだけ行く・参加する」の合計）が最も高いのは、「国政選挙の投票」が 90.7%となっており、次いで「地方選挙の投票」が 89.9%、「地域のお祭り」が 48.5%となっている。

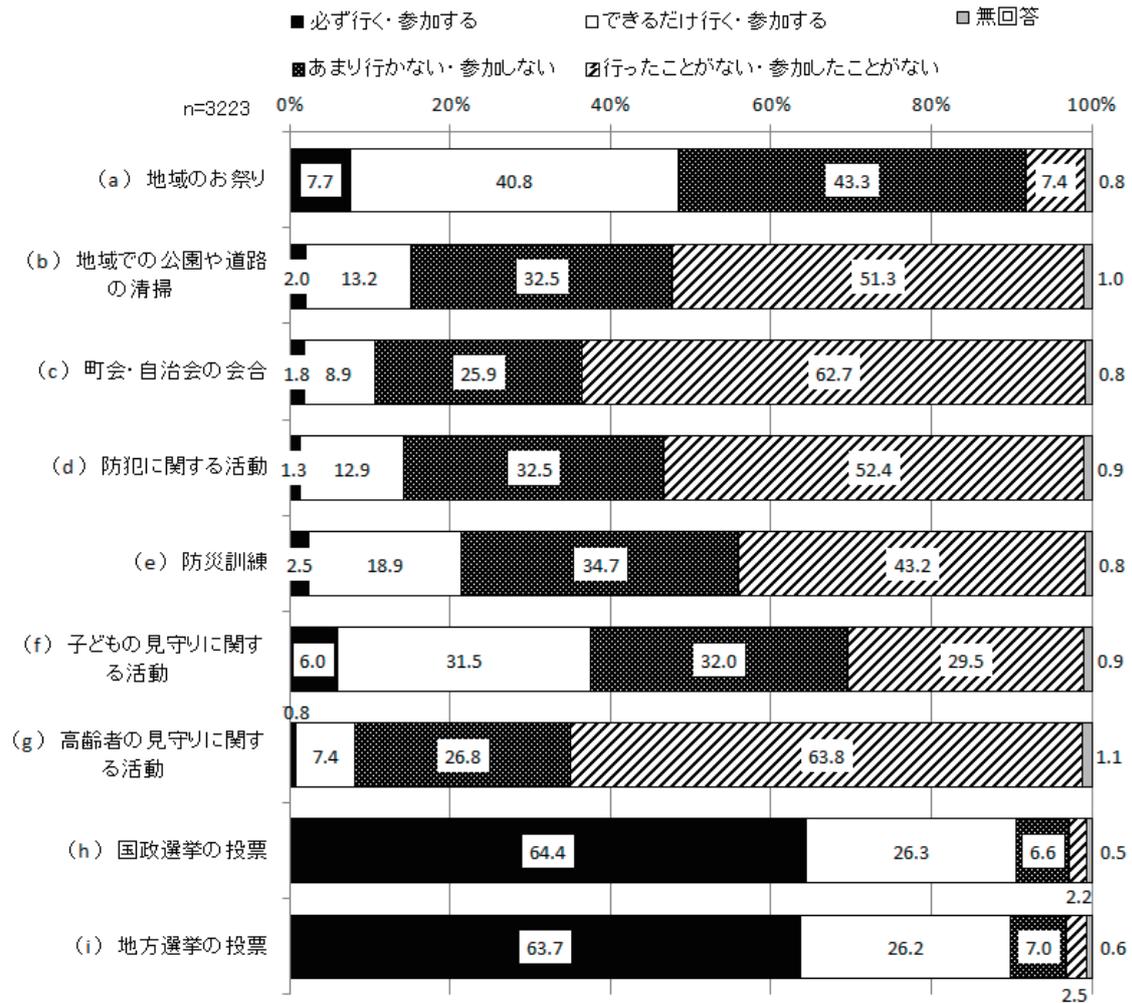
図表 17 母親の地域活動への参加状況



○母親の地域活動への参加状況

「問 16 次にあげる活動を、あなたはどの程度なさっていますか」という問いに、「行く・参加意向あり計」（「必ず行く・参加する」と「できるだけ行く・参加する」の合計）が最も高いのは、「国政選挙の投票」が 90.7%となっており、次いで「地方選挙の投票」が 89.9%、「地域のお祭り」が 48.5%となっている。

図表 18 母親の地域活動への参加状況



第2部 詳細分析

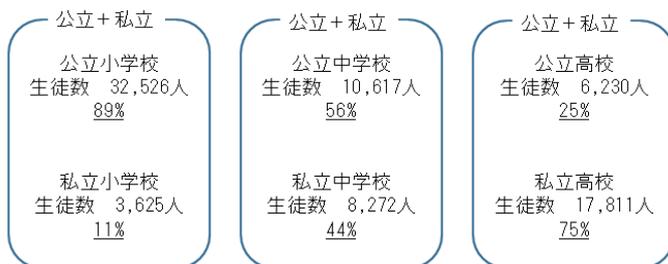
第1部では、各設問への回答の単純集計から、全体像を把握することができた。第2部では、詳しくデータを分析することで考察を深めていきたい。

2.1 子どもの小学校から高校への進学パターン

子どもの小学校から高校への進学パターンについて、問9の集計結果を紹介したが、それと本区の公立と私立の生徒数の現状¹を比較して、本調査と大きな差異がないか確認する。図18では、世田谷区に設置された公立と私立の学校の児童・生徒数の比率を比較している。データは、区外から通学する児童・生徒数を含んでいる。正確には、進学パターンを特定し、私立中学から公立高校へ進んだ生徒数が何人なのかといった検証が必要だが、該当する公的なデータが見当たらなかったため、当データを活用した。

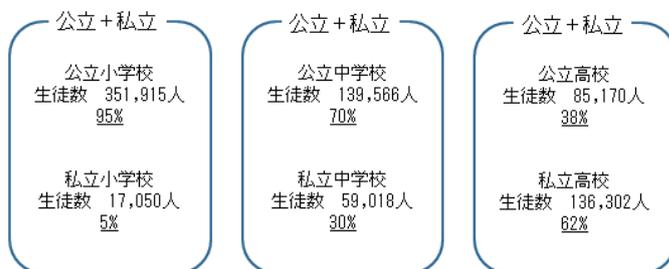
下図より、公立と私立の児童・生徒数を全体として見ると、小学校では89対11、中学校では56対44、高校では25対75となっている。これは、本調査の回答（比率）とほぼ変わらない。東京23区での公立校の生徒の比率は、概ね中学が7割、高校では4割となり、本区は、私立校の児童・生徒が比較的多い特徴があるといえる。

図表 19 世田谷区内に設置された公立・私立学校の児童・生徒数比較



出典：平成26年度 学校基本調査（世田谷区分）

図表 20 東京23区内に設置された公立・私立学校の児童・生徒数比較



出典：平成26年度 学校基本調査（区部）

¹ 『東京都の統計』 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/gakkou/2014/gk14qg10000.htm>

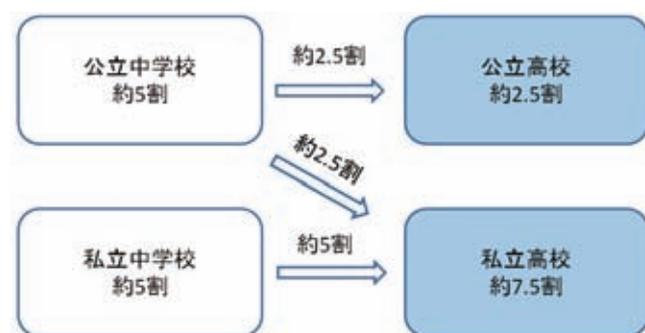
次に、今回の調査に基づく長子の進学パターン（小学校～高校）をまとめたい。

図表 21 「長子の進学パターン（小学校～高校）」

| | 度数（人） | % |
|--------------------------|-------|------|
| 1. すべて私立 | 305 | 9.5 |
| 2. すべて公立 | 722 | 22.4 |
| 3. 国立中→国立高 | 54 | 1.7 |
| 4. 公立小→公立中→私立高（中高一貫校でない） | 503 | 15.6 |
| 5. 公立小→私立中→私立高（中高一貫校） | 1,029 | 31.9 |
| 6. 公立小→公立中→私立高（中高一貫校） | 322 | 10.0 |
| 7. その他 | 288 | 8.9 |
| 合計 | 3,223 | 100 |

最も多かったパターンは、「5. 公立小→私立中→私立中（中高一貫校）」（31.9%）で、次いで「2. すべて公立」（22.4%）となっている。前述のとおり、当調査でも公立中への進学は全体の約半分を占めている。高校進学での内訳をイメージ図にすると、以下のとおりとなる。公立と私立をあわせて全体とした場合、公立中へ進学した人の約半分が私立高校に進んでいることが図から分かる。

図表 22 「長子の進学パターン（中学～高校）」



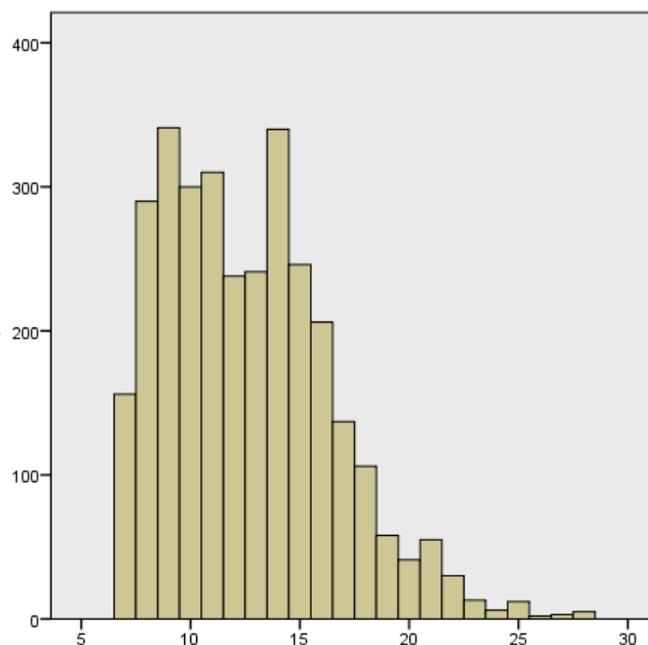
2.2 母親の地域参加と子どもの進学パターンとの関係

先行研究では、子どもが公立に進学した母親よりも、私立に進学した子どもの母親は、地域社会に対してやや閉鎖的であったと報告されている²。本区でも、そのような傾向にあるのだろうか。設問が異なるので単純に比較はできないが、地域参加に関する回答(問16)と進学パターンを使い検証してみたい。

まず、問16から地域参加の度合いを得点化する。前述の問16の(a)で、「必ず行く・参加する」と答えた人を4点、続いて順に3点、2点、1点と割り振り、「行ったことがない・参加したことがない」及び「無回答」を0点とした。この方法で、問16の(a)～(g)までの7項目の得点を合算し、回答者の地域参加度³として算出した。

結果、地域参加度(n=3,136人)の得点は、7点～28点の横軸の幅で、平均値12.63点、中央値12点、最頻値9点となっている。縦軸は度数を示し、全体は平均値を中心とした山型の分布をしているが、やや右側に裾が伸び、とても高い得点の人たちが少数いることが分かる。次に、ここで算出した母親の「地域参加度」を使って進学パターンとの関係について比較したい⁴。

図表 23 「地域参加度」の得点分布



² 駒澤大学文学部社会学科の片岡教授による、平成18年に関東8都県の子育て中の保護者6,000人(有効回答2,283票)を対象にした郵送調査では、「私立中学の親ほど、地域社会の人々との協力関係や協調度は弱く…地域での公共性の担い手にはなりにくい状況にある」ことが指摘されている。出典：片岡栄美,2009,「格差社会と小中学受験—受験を通じた社会的閉鎖,リスク回避,異質な他者への寛容性」『家族社会学研究』21(1):30-44.この調査では、当初、小・中学の受験層の違いに注目されていたが、私立小の親のサンプル数が少なく(父親n=15、母親n=16)、結果、私立中のみ言及されている。

³ 選挙の投票の項目(h)及び(i)は、地域の活動ではないことから地域参加度から除外した。

⁴ 1要因分散分析

図表 24 「地域参加度」の「長子の進学パターン」ごとの平均値

| | 度数（人） | 地域参加度 |
|--------------------------|-------|-------|
| 1. すべて私立 | 302 | 11.0 |
| 2. すべて公立 | 704 | 13.0 |
| 3. 国立中→国立高 | 52 | 11.3 |
| 4. 公立小→公立中→私立高（中高一貫校でない） | 487 | 13.1 |
| 5. 公立小→私立中→私立高（中高一貫校） | 1,004 | 12.6 |
| 6. 公立小→公立中→私立高（中高一貫校） | 310 | 13.0 |
| 7. その他 | 277 | 12.4 |
| 合計 | 3,136 | |

F 値=14.363, $p < .001$

各グループの地域参加度の平均は 11 点～13 点の幅に収まっているが、「1. すべて私立」「3. 国立中→国立高」は他に比べ、やや低い。これは先行研究を支持しているといえる。しかし、「公立小→公立中」と「公立小→私立中」のグループ間については、「私立中」がやや低いものの、その差はわずかであった。背景に、本区では生徒の約半分が私立中に通っていることが関係していると考えられる。そもそも、ほとんど公立中に進学する地域と、本区のような地域を同じように比較するのはやや無理がある。今回の結果では、中学校より小学校における進学先の違いが、母親の地域参加に関連していることが示唆されている。そこで、地域参加度を被説明変数にして、私立小と私立中を説明変数⁵として重回帰分析を試みた。

図表 25 「地域参加度」を被説明変数とする重回帰分析

| 説明変数 | β | r |
|------------|----------|----------|
| 私立小 | -.129 ** | -.146 ** |
| 私立中 | -.052 ** | -.096 ** |
| R^2 | .024 ** | |
| Adj. R^2 | .023 | |
| N | 3,136 | |

注) β : 標準偏回帰係数 r : 相関係数

** $p < .001$

重回帰分析の結果、私立小の方が私立中より被説明変数に効いていることが回帰係数の

⁵ 説明変数はダミー変数。「私立小ダミー」は私立小=1、それ以外=0、「私立中ダミー」は私立中=1、それ以外=0とした。なお、モデルの第3項目に交互作用変数として「私立小ダミー×私立中ダミー」を検討したが、「私立小ダミー」との変数間で共線が起きているので採用しない。また、「私立高ダミー」も説明変数に検討したが、モデルの説明力向上に寄与しないため採用しないこととした。

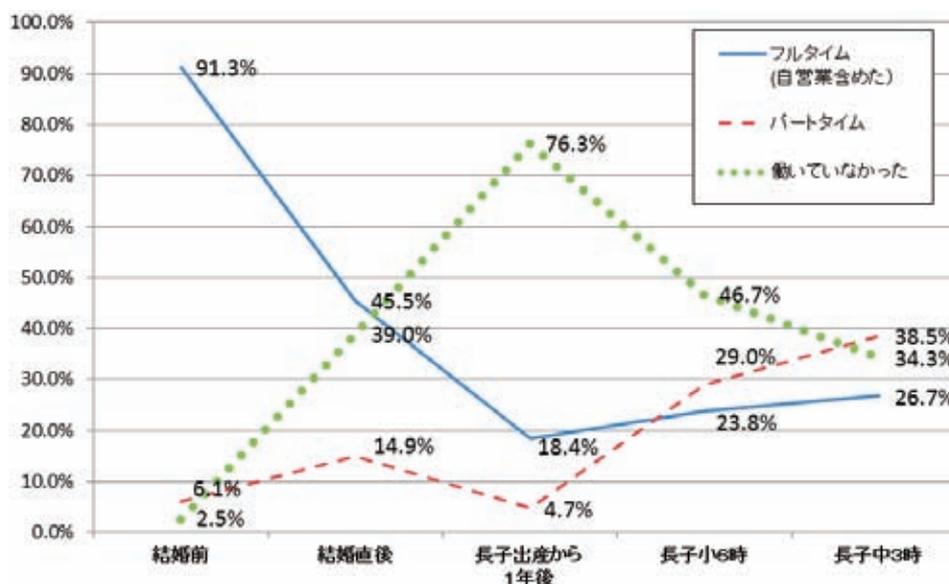
絶対値でも確認できる。つまり、母親の地域参加と子どもの進学先である小学校との関係が中学校よりも強いといえる。とりわけ、子どもの進学先が公立小を経由した場合、公立中か私立中かで母親の地域参加度にそれほど差が見られない。このことは、小学校での子どもを介した母親と地域とのつながりが、子どもの中学進学後も母親と地域を結びつけていることを示唆している。

2.3 母親の就労と出産・子育て期間との関係

母親の就労状況は、子どもの成長とともにどのように変化するのだろうか。ここでは、問20「あなたは以下の時点でお仕事をなさっていましたか」の回答から「フルタイム（自営業を含めた）」、「パートタイム」、「働いていなかった」の変化を見ていきたい⁶。

図表 26 母親の就労と出産・子育て期間との関係

| | 結婚前 | 結婚直後 | 長子出産から1年後 | 長子小6時 | 長子中3時 |
|----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| フルタイム | 91.3% | 45.5% | 18.4% | 23.8% | 26.7% |
| パートタイム | 6.1% | 14.9% | 4.7% | 29.0% | 38.5% |
| 働いていなかった | 2.5% | 39.0% | 76.3% | 46.7% | 34.3% |



⁶ 有効回答数はそれぞれ異なる。結婚前 3,195 件、結婚直後 3,194 件、長子の出産から 1 年後 3,197 件、長子小 6 時 3,201 件、長子中 3 時 3,201 件となっている。図表は、母親の就業状況について各段階の有効回答数を分母に小数点第 2 位以下四捨五入し、就労状況を 3 項目の比率で示している。

「結婚前」のフルタイム就労率は、全体の 91.3%だが、「結婚直後」に 45.5%まで低下し、「長子出産から 1 年後」には 18.4%となっている。その後、やや上昇するが 20%あまりに留まり、結婚前の水準に回復することはない。これに対し、「働いていない」と答えた割合は「結婚直後」39%、「長子出産から 1 年後」に 76.3%とピークをむかえ、その後は低下し「長子中 3 時」には 38.5%となっていた。この低下する時期は、「パートタイム」の割合が上昇する時期と重なる。

全期間を通して見ると、母親は「長子出産から 1 年後」に多くが就労しないことを選択し⁷、その後もフルタイム就労率が結婚前の水準に戻らないことから、仕事を辞めている人が本区では多いといえる。そして、子どもの成長とともにパートタイムに従事する母親が増加する就労パターンも見て取れる⁸。全国と本区の傾向を比べられるように、関連データを巻末の付録にしたので、そちらも併せて参照されたい⁹。

続いて、特徴的な 2 つのグループについて見ていきたい。

図表 27 母親の就労（3 分類）

| | |
|-------------------|-------|
| A. 出産後から一貫して専業主婦 | 27.3% |
| B. 結婚前から一貫してフルタイム | 13.2% |
| C. その他 | 59.5% |
| 合計(有効回答数 3,150 人) | 100% |

ここで着目するのは、結婚前にフルタイムで働き、出産後はフルタイム及びパートに一度も従事していないグループである「A. 出産後から一貫して専業主婦」と、「B. 結婚前から一貫してフルタイム」である。なお、主な就労パターンは「C. その他」に含まれると考えられる。「A. 出産後から一貫して専業主婦」が 27.3%、「B. 結婚前から一貫してフルタイム」は 13.2%で、A のグループが B を 2 倍ほど上回っている。

次に、本区の社会地図を使って、母親の就労（3 分類）を空間的に捉えてみたい。

⁷ 産前産後休業・育児休業も含む。

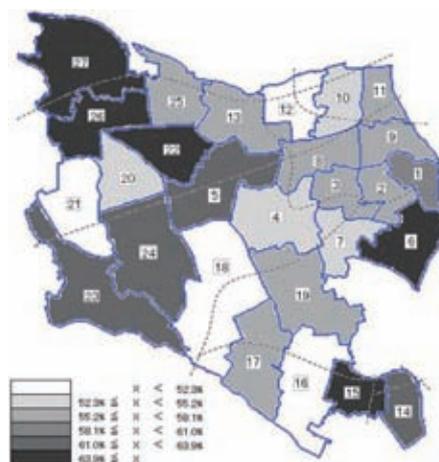
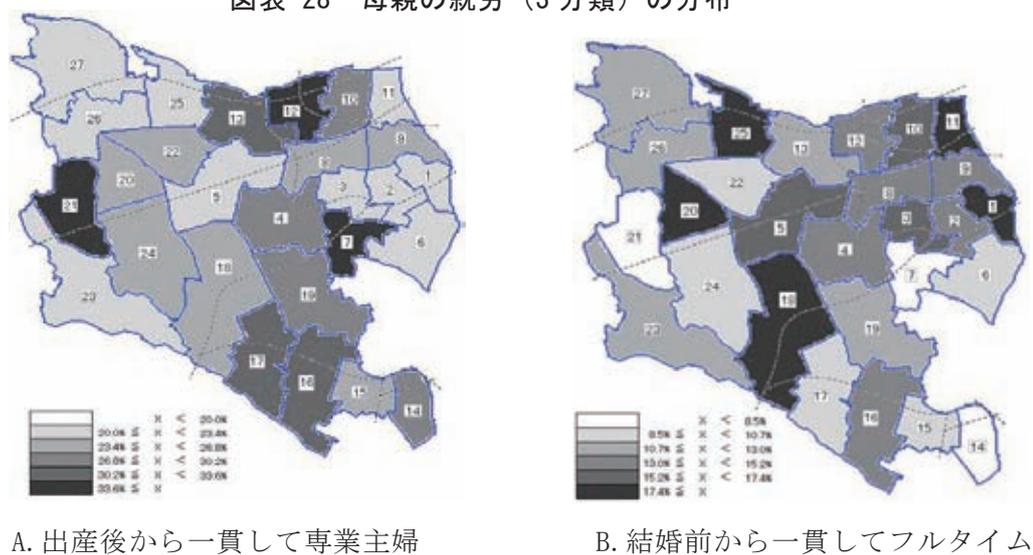
⁸ フルタイムを「正規社員」、パートタイムを「非正規社員」とすると、女性の年齢とともに前者が後者を上回るパターンは全国と同じである。しかし、その時期や就労率については本区と全国の間に差がみられる。付録の図表 35 を参照。

⁹ 資料は、前回（平成 19 年）に本区で行った共同調査「少子化と就業女性の支援ネットワークに関する調査」を参考にして国勢調査等のデータを更新・追加したものである。

地区の番号と出張所・まちづくりセンター名

| | | | | | |
|----|--------------|----|--------------|----|---------------|
| 1 | 池尻まちづくりセンター | 11 | 北沢出張所 | 21 | 成城出張所 |
| 2 | 太子堂出張所 | 12 | 松原まちづくりセンター | 22 | 船橋まちづくりセンター |
| 3 | 若林まちづくりセンター | 13 | 松沢まちづくりセンター | 23 | 喜多見まちづくりセンター |
| 4 | 上町まちづくりセンター | 14 | 奥沢まちづくりセンター | 24 | 砧まちづくりセンター |
| 5 | 経堂出張所 | 15 | 九品仏まちづくりセンター | 25 | 上北沢まちづくりセンター |
| 6 | 下馬まちづくりセンター | 16 | 等々力出張所 | 26 | 上祖師谷まちづくりセンター |
| 7 | 上馬まちづくりセンター | 17 | 上野毛まちづくりセンター | 27 | 烏山出張所 |
| 8 | 梅丘まちづくりセンター | 18 | 用賀出張所 | | |
| 9 | 代沢まちづくりセンター | 19 | 深沢まちづくりセンター | | |
| 10 | 新代田まちづくりセンター | 20 | 祖師谷まちづくりセンター | | |

図表 28 母親の就労（3分類）の分布



3つの図から、「A. 出産後から一貫して専業主婦」と「B. 結婚前から一貫してフルタイム」は「C. その他」のグループも含め、地区によってそれぞれ特徴がある。隣接している地区においても、例えば成城地区（21）ではA、祖師谷地区（20）ではB、船橋地区（22）ではCの割合が高い、といったように狭い範囲でも分布が異なることが分かった。

2.4 母親の子育てや家族に関する意識について

問 17「(a) 夫には家族を養う義務がある」、「(b) 妻は家事に責任をもつべきである」、「(d) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念した方がよい」、問 18「(a) 子育ては、母親にとっては最優先事項である」に着目する。それぞれ回答者の近代的な家族の規範¹⁰に関わる認識を反映していると考えられる。以下、各回答を得点化¹¹し相関関係を見ていきたい。

図表 29 家族に関する意識（相関行列）

| | 問 17 (a) | 問 17 (b) | 問 17 (d) | 問 18 (a) |
|----------|-------------------|------------------|----------------------|-------------------|
| | 夫には家族を 養う義務がある | 妻は家事に責任を 持つべき | 子が3歳まで母は 育児に専念すべき | 母親は子育てを 最優先すべき |
| 問 17 (a) | | .529** | .338** | .307** |
| 問 17 (b) | | | .394** | .367** |
| 問 17 (d) | | | | .373** |

** $p < .01$

各回答が互いに正の相関にあることが分かる。これらの意識項目をまとめ、軸として捉える主成分分析を試みる。変数は、要素を絞り 17(b), (d), 問 18(a)の3つを使う。この主成分分析の結果、固有値が1を超える成分が1つ抽出された。本稿では、先行研究の近代的な家族の規範と関連が見込まれるこの成分を「近代家族志向」と呼ぶこととしたい。

¹⁰ 『21世紀家族へ 第3版』, 落合恵美子, 2010, 有斐閣選書

¹¹ 得点化は、問 17(a), (b), (d), 問 18(a)の回答で「そう思う」を4点、「まあそう思う」を3点、「あまりそうは思わない」を2点、「そうは思わない」を1点とした。なお、分析は本区での家族に関する先行研究である三田(2009)等を参考にした。「パーソナルネットワークの"磁場"と家族の個人化—東京都世田谷区における育児女性調査データから—」, 三田泰雅, 2009, 『都留文科大学研究紀要 第69集』

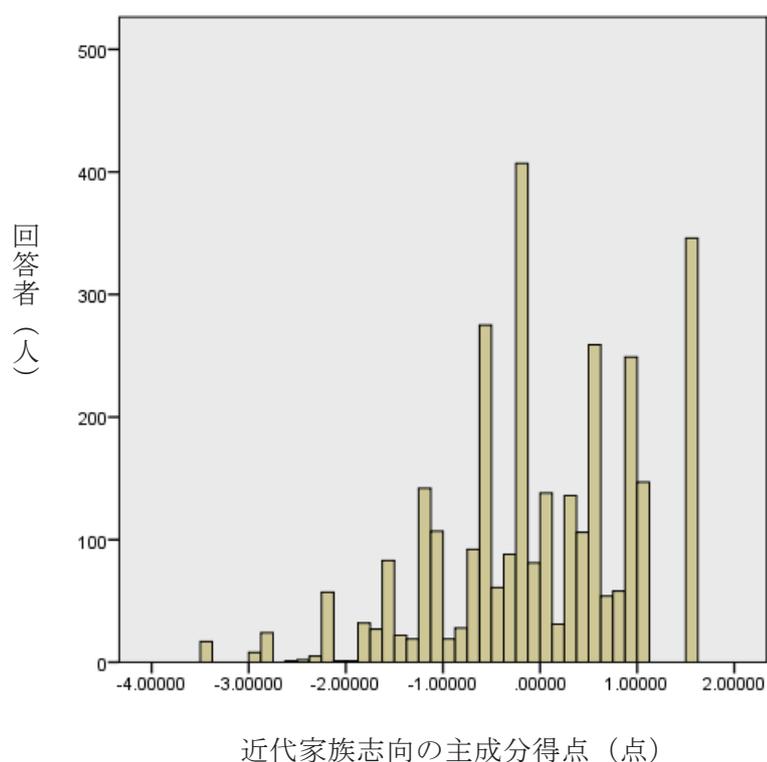
図表 30 母親の子育てと家族に関する意識の主成分分析

| 近代家族志向 | |
|------------------|-------|
| 妻は家事に責任を持つべき | .768 |
| 母は子育てを最優先すべき | .754 |
| 子が3歳まで母は育児に専念すべき | .773 |
| 固有値 | 1.756 |
| 寄与率 | 58.5 |

注) 値は主成分負荷量

この「近代家族志向」の読み方としては、得点が高い人ほど、「妻は家事に責任を持つべき」、「母は子育てを最優先すべき」、「子が3歳まで母は育児に専念すべき」を支持し、低い人ほど支持しないと解釈できる。回答者の主成分得点に関する分布 (n=3,123) は下図のとおりで、「近代家族志向」の得点は-3.46点から1.51点の幅に分布している¹²。

図表 31 「近代家族志向」主成分得点のヒストグラム



¹² 主成分得点は平均=0、分散=1となる。

次に、「近代家族志向」と「地域参加度」や「母親の就労状況」、「長子の進学パターン」との関連性を分析し、意識と行動の関係について考察したい。

まず、「近代家族志向」と「地域参加度」については、相関係数が 0.06 と相関は 0 ではないが、関連は弱い¹³。

続いて、「近代家族志向」と「母親の就労状況」の関係について分析を行う¹⁴。ここでは、母親の就労機会が増えると考えられる長子中 3 時に絞って考える。

図表 32 「近代家族志向」の「母親の就労状況（長子中 3 時）」ごとの平均値

| | 度数 (人) | 平均値 (近代家族志向) | 最小値 | 最大値 |
|--------------|-----------|-----------------|-------|------|
| 1. 働いていなかった | 1,081 | 0.35 | -2.89 | 1.51 |
| 2. フルタイムで就業 | 555 | -0.71 | -3.46 | 1.51 |
| 3. パートタイムで就業 | 1,204 | 0.03 | -3.46 | 1.51 |
| 4. 自営業で就業 | 266 | -0.11 | -3.46 | 1.51 |
| 合計 | 3,106 | 0.00 | -3.46 | 1.51 |

ウェルチ検定, F 値=145.945 $p < .05$

分析の結果、「1. 働いていなかった」と答えた人たちは近代家族志向の平均値が高く、この考えを支持する人が多い。一方、「2. フルタイムで就業」および「4. 自営業で就業」と答えた人たちは平均値がマイナスで、支持しない人が多いといる。また、「3. パートタイムで就業」と答えた人はほぼ中立的であった。やや自明な結果ではあるが、意識と行動が確かに結びついていることが分かる。

次に「近代家族志向」と「長子の進学パターン」について、同様の分析を試みる。なお、ここでの「長子の進学パターン」は項目を単純化するため、中高一貫校の要素による分類は行わない。

¹³ 1%水準で有意（両側）

¹⁴ 1 要因分散分析

図表 33 「近代家族志向」の「長子の進学パターン」ごとの平均値

| | 度数（人） | 平均値 (近代家族志向) | 最小値 | 最大値 |
|----------------|-------|-----------------|-------|------|
| 1. すべて私立 | 314 | 0.26 | -2.80 | 1.51 |
| 2. すべて公立 | 697 | -0.14 | -3.46 | 1.51 |
| 3. 国立中→国立高 | 25 | 0.21 | -2.14 | 1.51 |
| 4. 公立小→公立中→私立高 | 801 | -0.06 | -3.46 | 1.51 |
| 5. 公立小→私立中→私立高 | 1,026 | 0.05 | -3.46 | 1.51 |
| 6. その他 | 260 | 0.01 | -3.46 | 1.51 |
| 合計 | 3,123 | 0.00 | -3.46 | 1.51 |

F 値=9.278, $p < .05$

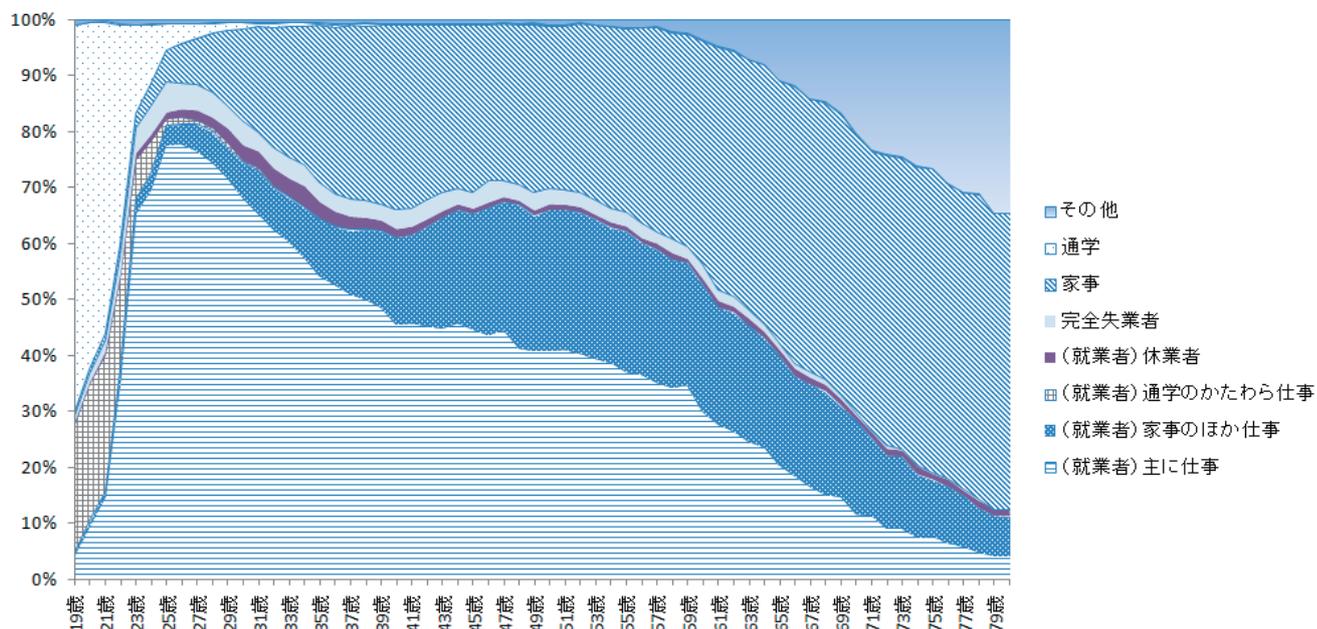
分散分析の結果、「近代家族志向」を「長子の進学パターン」で分類すると、「1. すべて私立」と「3. 国立中→国立高」の母親は「近代家族志向」を支持する傾向で、逆に「2. すべて公立」の母親は支持しない傾向にあることが分かる。また、「4. 公立小→公立中→私立高」、「5. 公立小→私立中→私立高」、「6. その他」は、概ね中立的だと考えられる。母親の家族に関する意識が現在のものであり、子どもの進学との因果関係を説明することはできないが、上記のような関係が見られるということは分かった。

考察

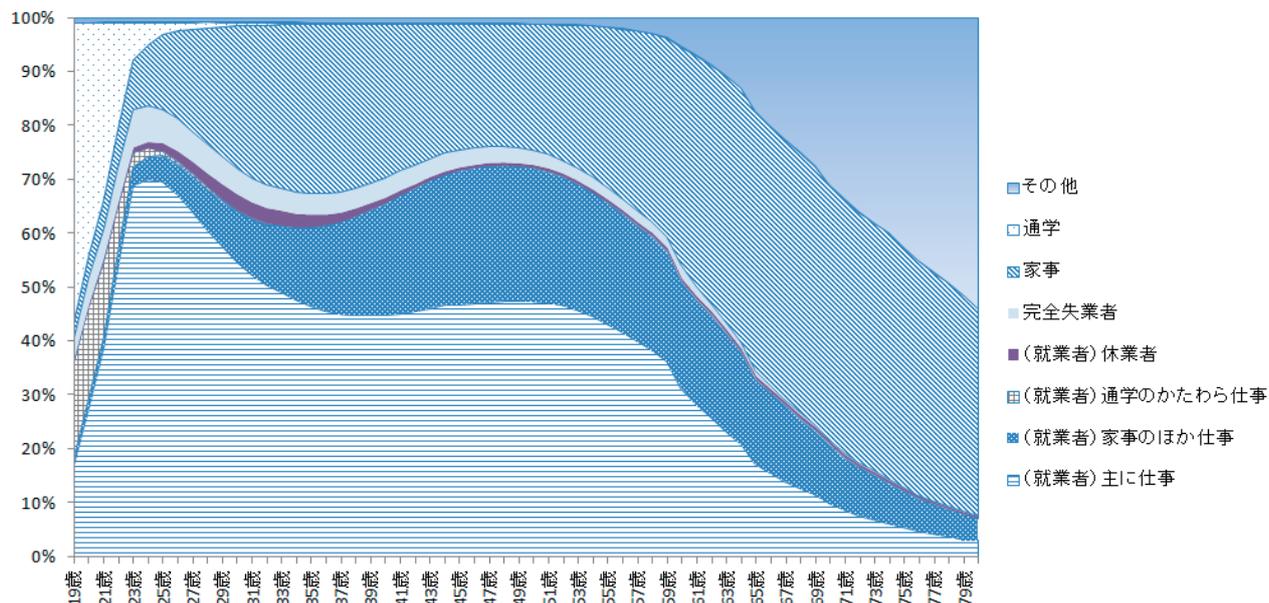
本稿では、平成 27 年 2 月に実施した「母親の社会参加と子どもの教育に関する調査」について、集計結果を概観するとともに詳細分析を行った。分析では、母親の子育てと地域とのつながり、就労や家族について考えているのかについて複眼的に考察した。具体的には、母親の地域参加と子どもの進学先の間には関係性がみられること、母親の就労と出産・子育て期間にはパターンがあること、母親の家族に関する意識が、母親の就労及び子どもの進学パターンと関係していることが分かった。これらの知見が、本区で子育てに取り組む母親についてのより深い理解につながれば本研究の意義はあったと考えられる。

【付録】

図表 34 世田谷区内年齢別労働力人口（女性） 国勢調査 H22



図表 35 全国年齢別労働力人口（女性） 出典：国勢調査 H22



女性の労働力人口比率¹⁵の年齢別グラフを見ると、世田谷区は全国に比べ非 M 字型で子どもが大きくなってからの就業復帰が少ないことが分かる¹⁶。この傾向は、前回の平成 17 年国勢調査の結果とほぼ変わっていない。

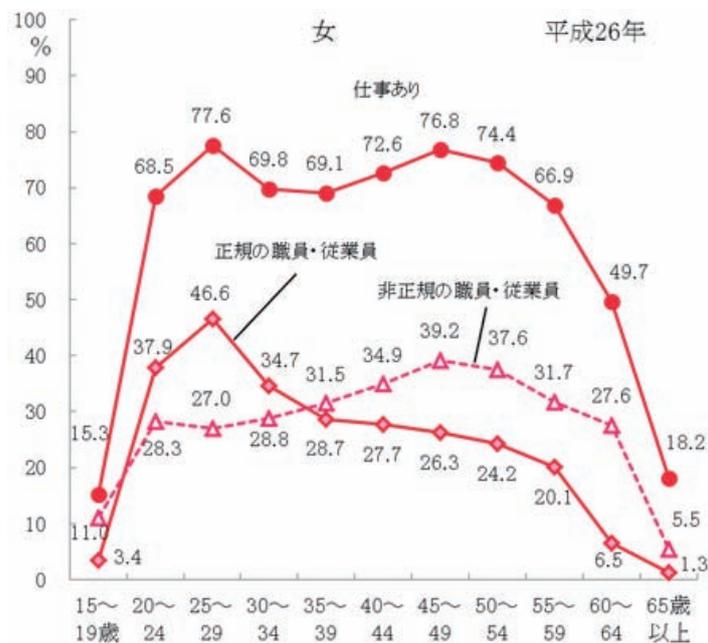
¹⁵ 労働力人口は、15 歳以上の人について、就業者と完全失業者を合わせたもの。なお、国勢調査では「専業主婦」を定義していない。出典：総務省統計局

¹⁶ せたがや自治政策 Vol.1, 2009:30

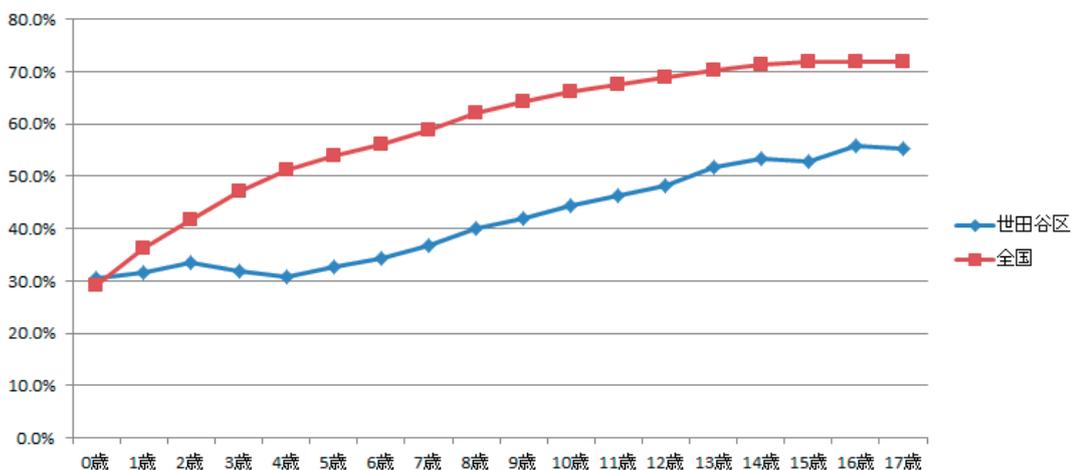
【付録】

図表 36 性・年齢階級別にみた 15 歳以上の者の就業状況

引用：国民生活基礎調査 厚生労働省



図表 37 末子年齢別母親の就業率 出典：国勢調査 H22



末子の年齢別に母親の就業率¹⁷を見ると、世田谷区の末子 0 歳時の母親の就業率は全国平均とほぼ同等であるが、末子の年齢が上がるにつれて全国比よりも低く推移している。末子が 13 歳¹⁸をこえた時期に 5 割を超えるものの、全国が末子 4 歳の時に 5 割を超えるのに比べて遅い。

¹⁷ 国勢調査のデータでは、18 歳以上については合算されていることから値が低くなるためグラフでは除外した。なお、世田谷区、全国それぞれ 42.3%、49.2%となっており、全国に比べて世田谷区が低い傾向に変わりはない。

¹⁸ 平成 17 年の国勢調査では末子が 11 歳のときに本区の母親の就業率が 5 割を超えていた。全国では、それが 7 歳のころに 5 割を超えている。

謝辞

この研究は JSPS 科研費（課題番号 25285154）の助成を受けたものである。共同研究では、九州工業大学の安河内教授をはじめ、研究会メンバーの皆様から先行研究の紹介や分析データの整理・共有など、多大なるご協力をいただいた。更に本稿の分析においても、専門的なアドバイス等、貴重なご指摘をいただくことができた。皆様には感謝申し上げます。

参考文献

- 落合恵美子，2010，『21 世紀家族へ 第 3 版』，有斐閣選書。
- 片岡栄美，2009，「格差社会と小中学受験—受験を通じた社会的閉鎖，リスク回避，異質な他者への寛容性」，『家族社会学研究』21(1):30-44.
- せたがや自治政策研究所，2009，『せたがや自治政策 Vol.1』。
- 三田泰雅，2009，「パーソナルネットワークの“磁場”と家族の個人化—東京都世田谷区における育児女性調査データから—」，『都留文科大学研究紀要 第 69 集』。

母親の社会参加と子どもの教育に関する調査

この調査は、皆さまの就業状況や社会への参加状況、お子様の教育に関わる現在の現状を明らかにすることによって、母親の社会参加をめぐる生活課題や実態を把握するための基礎研究として、世田谷区と九州工業大学が共同で行うものです。

お忙しいところ恐縮に存じますが、ご協力のほど、どうかよろしくお願ひ申し上げます。調査に関する質問などは、下記までお問い合わせくださいませますようお願いいたします。

なお、この調査へのご回答によって個人が特定されることはありません。

平成 27 年 2 月

せたがや自治政策研究所
 (世田谷区政策経営部政策研究・調査課)
 九州工業大学大学院情報工学研究院
 安河内 恵子 研究室

〔お問い合わせ先〕

せたがや自治政策研究所
 (世田谷区政策経営部政策研究・調査課)
 〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺 2-28-3 厚生会館 2 階
 電話番号 : 03-3425-6124

〔ご記入にあたってのお願い〕

1. 回答は、指示にしたがって、あてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入ください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
3. 該当する質問には、**すべて**お答えください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問文をお読みになりご記入ください。
5. この調査票は、**2月24日(火)までに**、同封の封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします(差出人名は、無記名で結構です)。

問 1 あなたは現在どちらにお住まいですか。町丁目でお答えください。
 (記入例) 池尻 1 丁目・北沢 2 丁目・駒沢 3 丁目・船橋 4 丁目・八幡山 1 丁目など

丁目

問 2 世田谷区にお住まいになって通算して何年になりますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1. 5 年未満 (7.8%) 2. 5～10 年未満 (10.4%) 3. 10～15 年未満 (15.6%)
 4. 15～20 年未満 (19.3%) 5. 20～25 年未満 (18.9%) 6. 25 年以上 (27.8%)

(無回答 : 0.3%)

問 3 あなたが中学校を卒業したときにお住まいだった場所は世田谷区内ですか。

1. はい (79.9%) 2. いいえ (19.7%)

(無回答 : 0.4%)

問 4 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1. 一戸建て持ち家 (68.4%) 2. 一戸建て借家 (4.5%) 3. 分譲マンション (19.0%)
 4. 賃貸マンション (8.6%) 5. 都営・区営住宅 (2.1%) 6. 社宅・官舎・寮 (3.0%)
 7. アパート (1.7%) 8. その他 (2.2%) (無回答 : 0.4%)

問 5 あなたは現在、何歳ですか。また、何月生まれですか。

 歳
 (平均 : 50.18 歳)

 月 生まれ

問 6 現在あなたに配偶者(内縁の夫も含む)はいらっしゃいますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1. いる (90.9%) 2. いない (離別) (6.2%) 3. いない (死別) (2.3%) 4. 結婚したことがない (未婚) (0.3%)

その方は何歳ですか
 (必ず「1. いる」に○をつけてください)

 歳
 (平均 : 52.6 歳)

問 7 あなたの世帯 (同居しているご家族など) は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。「6. その他」の場合は、かつこの中に具体的に記入ください。

1. 1 人暮らし (0.2%) 2. 夫婦 2 人 (0.7%) 3. 夫婦と子ども (76.1%) 4. 母子世帯 (8.5%) 5. 3 世代世帯 (親と夫婦と子ども) (11.8%) 6. その他 (2.3%)

(無回答 : 0.4%)

問8 お子さんは何人いらっしゃいますか。人数をご記入ください。

□ 人 (平均：2.08人)

問9 二番上のお子さんについてお伺いします。

(1) 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。また、何月生まれですか。

□ 歳 (平均：20.65歳)
□ 月 □ 生まれ

1.男 (51.2%) 2.女 (48.2%) (無回答：0.6%)

(3) 一番上のお子さんが現在、通学している学校は、どちらですか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1.高校 2.専門学校・専修学校 3.短大・高専 4.予備校 5.大学 6.特別支援学校 7.卒業した
(27.1%) (1.9%) (0.7%) (2.4%) (42.7%) (0.2%) (24.1%) (無回答：0.9%)

(4) 一番上のお子さんとは、現在、同居なさっていますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1.同居している (86.1%) 2.同居していない (30分未満で行けるとところに住んでいる) (8.7%) (無回答：0.2%)
3.同居していない (30分以上かかるところに住んでいる) (10.0%) (無回答：0.2%)

(5) 一番上のお子さんは、小学校入学前は、どちらにお通いでしたか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1.認定こども園 (0.3%) 2.幼稚園 (76.0%) 3.認可保育所 (18.8%) 4.認可外保育施設 (0.9%) 5.どこにも通っていない (0.2%)
6.その他 (2.9%) (無回答：0.7%)

(6) 小学校は、どちらに通学していましたか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

1.公立小学校 (85.0%) 2.国立小学校 (2.8%) 3.私立小学校 (11.5%) 4.特別支援学校 (無回答：1.0%)

(7) 小学生の時に次のような学習や習い事をされたことがありますか。a~h のそれぞれについて、あてはまる学年の番号すべてに、○をつけてください。

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 一度も ない |
|--|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| a. 学校の勉強がわかるようになるための補習塾 (無回答：26.8%) | 1 (5.1%) | 2 (5.8%) | 3 (8.0%) | 4 (11.7%) | 5 (15.4%) | 6 (18.5%) | 7 (47.5%) |
| b. 中学校を受験するための進学塾 (無回答：18.6%) | 1 (1.1%) | 2 (1.7%) | 3 (6.2%) | 4 (26.3%) | 5 (38.7%) | 6 (44.2%) | 7 (83.2%) |
| c. プリント教材教室 (計算・書きとりなど) (無回答：25.0%) | 1 (20.7%) | 2 (20.5%) | 3 (20.7%) | 4 (15.7%) | 5 (12.5%) | 6 (10.8%) | 7 (41.6%) |
| d. 家庭教師 (無回答：32.1%) | 1 (0.8%) | 2 (0.8%) | 3 (1.2%) | 4 (2.0%) | 5 (3.7%) | 6 (8.7%) | 7 (67.4%) |

| | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 一度も ない |
|-----------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| e. 語学系の習い事 (英会話など) (無回答：26.4%) | 1 (19.4%) | 2 (19.3%) | 3 (19.2%) | 4 (16.9%) | 5 (14.3%) | 6 (39.9%) | 7 (39.9%) |
| f. スポーツ系の習い事 (無回答：10.8%) | 1 (54.6%) | 2 (65.9%) | 3 (68.2%) | 4 (54.7%) | 5 (47.9%) | 6 (38.6%) | 7 (13.0%) |
| g. 音楽系の習い事 (無回答：20.4%) | 1 (38.6%) | 2 (37.0%) | 3 (36.4%) | 4 (28.2%) | 5 (23.2%) | 6 (32.2%) | 7 (32.2%) |
| h. 芸術系の習い事 (無回答：29.3%) | 1 (16.6%) | 2 (15.7%) | 3 (14.5%) | 4 (12.7%) | 5 (11.1%) | 6 (9.3%) | 7 (48.0%) |

(8) 中学受験をなさいましたか。

1.受験した (48.7%) 2.受験しなかった (50.0%) (無回答：1.3%)

(9) 一番上のお子さんの小学校時代のお友達で、次のような方を何人くらいご存知でしたか。ご存知でない場合には、必ず「0」人とご記入ください。

1.顔と名前が一致する子 (人) くらい 2.名前だけは知っている子 (人) くらい (平均：23.92人) (平均：20.49人)

(10) お子さんが小学校に入学してから、お子さんの中学や高校への進学についてのどのような方に相談しましたか。以下の項目のなかから、あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1.配偶者(夫) (21.6%) 2.自分の母親 (8.7%) 3.自分の父親 (1.8%) 4.自分の兄または弟 (8.4%) 5.自分の姉または妹 (84.1%)
6.配偶者の母親 (7.0%) 7.配偶者の父親 (2.7%) 8.配偶者の兄または弟 (0.4%) 9.配偶者の姉または妹 (1.6%)
10.その他の親族 (45.6%) 11.子どもを通して知り合った友人 (11.0%) 12.学校時代からの友人 (1.6%)
13.以前または現在の職場の上司・同僚 (6.2%) 14.近所(地域)の人 (60.3%) 15.学校または塾の先生 (5.3%)
16.その他 (5.6%) (無回答：0.2%) (3.7%)

SQ (上記の間で17以外を選んだ方に) 上記で選んだ方のなかで、最も頼りになったのはどなたですか。あてはまる番号を1つ記入してください。 ()

1.配偶者(夫) (40.8%) 2.自分の母親 (2.3%) 3.自分の父親 (0.6%) 4.自分の兄または弟 (1.0%) 5.自分の姉または妹 (1.0%)
6.配偶者の母親 (0.3%) 7.配偶者の父親 (0.0%) 8.配偶者の兄または弟 (0.0%) 9.配偶者の姉または妹 (0.0%)
10.その他の親族 (0.1%) 11.子どもを通して知り合った友人 (9.3%) 12.学校時代からの友人 (0.8%)
13.以前または現在の職場の上司・同僚 (0.3%) 14.近所(地域)の人 (22.6%) 15.学校または塾の先生 (1.6%) (無回答：19.3%)

(15) 高校生の時に部活動をしていましたか(いますか)。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。
部活動をしていた(いる)場合は、一週間の活動日数についてもお答えください。

| | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 運動部の部活をしていた(いる) (52.3%) | } → 1週間に () 日くらい (平均: 4.02日) |
| 2. 文化部の部活をしていた(いる) (26.8%) | |
| 3. 運動部と文化部の両方をしていた(いる) (2.6%) | |
| 4. していない(いない) (16.7%) (無回答: 1.6%) | |

(16) 一番上のお子さんは、どちらの大学に通学していましたか(していますか)。

| | | | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|--------------------|----------------|-------------------|
| 1. 国立大学 (1.1%) | 2. 公立大学 (52.9%) | 3. 私立大学 (23.1%) | 4. まだ通っていない (0.8%) | 5. 中退した (7.6%) | 6. 進学しなかった (8.2%) |
|----------------|-----------------|-----------------|--------------------|----------------|-------------------|

(17) 一番上のお子さんが通った(通っている)学校や塾などを出会のきかけとして、あなたがおつきあいを始めた方は、いらっしゃいます(ました)か。

| | | |
|-------------------|-----------------------|-------------|
| 1. いる(いた) (77.0%) | 2. いない(いなかった) (22.3%) | (無回答: 0.7%) |
|-------------------|-----------------------|-------------|

→ SQ: (1と回答した方に) お子さんが小学校6年生の時、そのような方は何人いらっしゃいましたか。いらっしゃらない場合には、必ず「0」人とご記入ください。

| | | |
|----------------------------------|-------------|-------------|
| () 人 → 今もおつきあいがいるのは、何人ですか。() 人 | (平均: 9.87人) | (平均: 4.69人) |
|----------------------------------|-------------|-------------|

問10 あなたの両親についてうかがいます。配偶者がいらっしゃる方は、配偶者の父親/母親についてもお答えください。(2)は、御存命の場合にお答えください。

| (1) どちらに住んでいらっしゃる ※通常の交通手段でかかる時間別に○をつけてください。 | あなたの父親 | あなたの母親 | 配偶者の父親 | 配偶者の母親 |
|--|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| 1. 同居・同じ敷地内 (4.5%) | 1. 同居・同じ敷地内 (5.7%) | 1. 同居・同じ敷地内 (8.3%) | 1. 同居・同じ敷地内 (5.7%) | 1. 同居・同じ敷地内 (11.6%) |
| 2. 15分以内 (4.3%) | 2. 15分以内 (4.3%) | 2. 15分以内 (6.5%) | 2. 15分以内 (3.6%) | 2. 15分以内 (5.3%) |
| 3. 15~30分以内 (3.0%) | 3. 15~30分以内 (3.0%) | 3. 15~30分以内 (4.8%) | 3. 15~30分以内 (2.8%) | 3. 15~30分以内 (4.7%) |
| 4. 30分~1時間以内 (8.7%) | 4. 30分~1時間以内 (8.7%) | 4. 30分~1時間以内 (13.4%) | 4. 30分~1時間以内 (6.0%) | 4. 30分~1時間以内 (9.7%) |
| 5. 1~2時間以内 (13.2%) | 5. 1~2時間以内 (13.2%) | 5. 1~2時間以内 (17.5%) | 5. 1~2時間以内 (7.4%) | 5. 1~2時間以内 (11.6%) |
| 6. 2時間以上 (20.9%) | 6. 2時間以上 (20.9%) | 6. 2時間以上 (30.3%) | 6. 2時間以上 (21.7%) | 6. 2時間以上 (32.3%) |
| 7. 亡くなった (44.0%) | 7. 亡くなった (44.0%) | 7. 亡くなった (18.2%) | 7. 亡くなった (51.5%) | 7. 亡くなった (23.7%) |
| (無回答: 1.4%) | (無回答: 1.4%) | (無回答: 1.1%) | (無回答: 1.3%) | (無回答: 1.0%) |
| (2) どの程度会っていますか。(○はひとつ) | 1. ほとんど毎日 (9.2%) | 1. ほとんど毎日 (11.2%) | 1. ほとんど毎日 (8.5%) | 1. ほとんど毎日 (11.2%) |
| | 2. 少なくとも週1回 (7.9%) | 2. 少なくとも週1回 (9.7%) | 2. 少なくとも週1回 (5.6%) | 2. 少なくとも週1回 (6.7%) |
| | 3. 少なくとも月1回 (18.4%) | 3. 少なくとも月1回 (20.4%) | 3. 少なくとも月1回 (9.4%) | 3. 少なくとも月1回 (11.1%) |
| | 4. 年に1~6回程度 (51.1%) | 4. 年に1~6回程度 (48.4%) | 4. 年に1~6回程度 (54.4%) | 4. 年に1~6回程度 (51.9%) |
| | 5. ほとんど会わない (10.1%) | 5. ほとんど会わない (7.8%) | 5. ほとんど会わない (18.7%) | 5. ほとんど会わない (17.0%) |
| | (無回答: 3.2%) | (無回答: 2.5%) | (無回答: 3.3%) | (無回答: 2.0%) |

(11) 上記(10)で選んだ方々にお子さんの進路を相談した時、以下のような事柄はどのくらいあてはまりましたか。それぞれ、あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| | あてはまる | まる | ややあてはまる | あまりあてはまらない | ない | あてはまらなかった |
|---|-----------|-----------|-----------|------------|----|-----------|
| a. 中学受験に関する有益な情報を得ることができた (無回答: 13.2%) | 1 (28.6%) | 2 (26.0%) | 3 (9.4%) | 4 (22.8%) | | |
| b. 子どもの進路に関する悩みや心配事を解消することができた (無回答: 11.0%) | 1 (31.1%) | 2 (41.4%) | 3 (10.3%) | 4 (6.2%) | | |
| c. 中学校以降の子どもの進路について具体的なイメージをもつことができた (無回答: 11.2%) | 1 (26.1%) | 2 (39.0%) | 3 (16.8%) | 4 (6.9%) | | |
| d. 子どもをもつ母親としての気持ち共有することができた (無回答: 11.3%) | 1 (32.8%) | 2 (30.4%) | 3 (12.8%) | 4 (12.8%) | | |

(12) 一番上のお子さんは、どちらの中学校に通学していましたか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| | | | | |
|------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------|
| 1. 公立中学校 (50.5%) | 2. 国立中学校 (2.9%) | 3. 私立中学校 (44.9%) | 4. 特別支援学校 (0.5%) | (無回答: 1.2%) |
|------------------|-----------------|------------------|------------------|-------------|

→ SQ (上記で3と回答した方に) その中学校は中高一貫校ですか。

| | | |
|---------------------|---------------------|-------------|
| 1. 中高一貫校である (94.7%) | 2. 中高一貫校ではない (4.8%) | (無回答: 0.4%) |
|---------------------|---------------------|-------------|

(13) 一番上のお子さんは、どちらの高校に通学していましたか(していますか)。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| | | | | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|------------------|----------------|-------------------------|-------------|
| 1. 公立高校 (23.8%) | 2. 国立高校 (2.4%) | 3. 私立高校 (71.2%) | 4. 特別支援学校 (0.8%) | 5. 中退した (0.1%) | 6. 進学しなかった(17)へ (25.8%) | (無回答: 1.3%) |
|-----------------|----------------|-----------------|------------------|----------------|-------------------------|-------------|

→ SQ (上記で3と回答した方に) その高校は中高一貫校ですか。

| | | | |
|---------------------------|---------------------------|----------------------|-------------|
| 1. 中高一貫校で中学から進学した (55.8%) | 2. 中高一貫校で高校から進学した (17.0%) | 3. 中高一貫校ではない (26.2%) | (無回答: 1.0%) |
|---------------------------|---------------------------|----------------------|-------------|

(14) 通学した(している)高校を選んだ理由は何か。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。中高一貫校で中学から進学した方は、中学校を選んだ理由をお答えください。

| | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 仲間はずれやいじめがない (18.8%) | 2. わかりやすい授業をしてくれる (27.1%) |
| 3. 部活動が盛んである (32.4%) | 4. いい大学に入学する生徒が多い (40.4%) |
| 5. 悪いことをしたら厳しくしなってくれる (10.8%) | 6. 友だちが多く進学した (11.2%) |
| | (無回答: 19.0%) |

問 11 以下のような方々は、それぞれの場所に何人いらっしゃいますか。通常の交通手段でかかる時間別に記入ください。該当しない箇所には、必ず「0」人とご記入ください。

(1) あなたのきょうだいは何人ですか。()人 (平均：1.53人)

どちらにお住まいですか。

| | | |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 同居・同じ敷地内 ()人 (平均：0.03人) | 15分以内 ()人 (平均：0.07人) | 15～30分以内 ()人 (平均：0.08人) |
| 30分～1時間以内 ()人 (平均：0.25人) | 1～2時間以内 ()人 (平均：0.37人) | 2時間以上 ()人 (平均：0.56人) |

(2) あなたの夫のきょうだいは何人ですか。()人 (平均：1.54人)

どちらにお住まいですか。

| | | |
|--------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 同居・同じ敷地内 ()人 (平均：0.04人) | 15分以内 ()人 (平均：0.08人) | 15～30分以内 ()人 (平均：0.08人) |
| 30分～1時間以内 ()人 (平均：0.2人) | 1～2時間以内 ()人 (平均：0.35人) | 2時間以上 ()人 (平均：0.63人) |

(3) 親、きょうだい以外で親しくしている親せきは何人ですか。()人 (平均：2.55人)

どちらにお住まいですか。

| | | |
|---------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 同居・同じ敷地内 ()人 (平均：0.02人) | 15分以内 ()人 (平均：0.11人) | 15～30分以内 ()人 (平均：0.1人) |
| 30分～1時間以内 ()人 (平均：0.34人) | 1～2時間以内 ()人 (平均：0.72人) | 2時間以上 ()人 (平均：1.17人) |

(4) あなたが親しくしている友人は何人ですか。()人 (平均：8.51人)

どちらにお住まいですか。

| | | |
|-------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 15分以内 ()人 (平均：1.72人) | 15～30分以内 ()人 (平均：1.49人) | 30分～1時間以内 ()人 (平均：2.26人) |
| 1～2時間以内 ()人 (平均：1.83人) | 2時間以上 ()人 (平均：1.11人) | |

問 12 あなたがお住まいのご近所で、次のような方は何人くらいいらっしゃいますか。もっとも近い番号に、ひとつだけ○をつけてください。

(1) 車で会えばあいさつするような人

| | | | |
|-------------------|------------------|------------------|-----------------|
| 1. 0人 (1.4%) | 2. 1～3人 (12.1%) | 3. 4～6人 (20.3%) | 4. 7～9人 (12.6%) |
| 5. 10～14人 (19.0%) | 6. 15～19人 (5.9%) | 7. 20人以上 (28.2%) | (無回答：0.5%) |

(2) 立ち話をする人

| | | | |
|-------------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 1. 0人 (8.8%) | 2. 1～3人 (38.3%) | 3. 4～6人 (24.5%) | 4. 7～9人 (10.4%) |
| 5. 10～14人 (10.2%) | 6. 15～19人 (1.8%) | 7. 20人以上 (5.3%) | (無回答：0.6%) |

(3) 日常生活において、助け合って支援してくれる人

| | | | |
|------------------|------------------|-----------------|----------------|
| 1. 0人 (26.8%) | 2. 1～3人 (49.7%) | 3. 4～6人 (16.6%) | 4. 7～9人 (3.3%) |
| 5. 10～14人 (1.8%) | 6. 15～19人 (0.2%) | 7. 20人以上 (0.9%) | (無回答：0.7%) |

問 13 次にあげるような意見について、あなたはどのようにお考えですか。(a)、(b)のそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| | そう思う | まあそう思う | あまりそうは思わない | そうは思わない |
|-----------------------------|-----------|-----------|------------|----------|
| (a) 近隣の住民は信頼できる (無回答：0.7%) | 1 (19.3%) | 2 (55.9%) | 3 (19.5%) | 4 (4.7%) |
| (b) 身近な自治体は信頼できる (無回答：0.9%) | 1 (9.8%) | 2 (55.7%) | 3 (27.4%) | 4 (6.3%) |

問 14 子育てや子ども教育について、次にあげるような意見があります。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| | そう思う | まあそう思う | あまりそうは思わない | そうは思わない |
|----------------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|
| (a) できるだけ地域の中で育てたい (無回答：0.8%) | 1 (29.7%) | 2 (46.2%) | 3 (18.7%) | 4 (4.5%) |
| (b) できるだけ公立の学校に進学させたい (無回答：1.1%) | 1 (24.0%) | 2 (29.8%) | 3 (30.5%) | 4 (14.7%) |
| (c) できるだけ地域の行事に参加させたい (無回答：1.0%) | 1 (21.9%) | 2 (50.4%) | 3 (22.0%) | 4 (4.7%) |
| (d) できるだけ伸び伸びと育てたい (無回答：0.8%) | 1 (57.2%) | 2 (38.9%) | 3 (2.6%) | 4 (0.6%) |
| (e) できるだけ受験のない方がよい (無回答：0.9%) | 1 (14.7%) | 2 (30.8%) | 3 (37.3%) | 4 (16.3%) |

問15 あなたは次にあげる団体・組織に加入していますか。(a)～(f)のそれぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○を付けてください。

| | | | |
|-------------------------|----------------|---------------|---------------------------|
| (a) 町会・自治会 | 1. 非加入 (32.1%) | 2. 加入 (59.8%) | 3. 加入して積極的に活動している (17.7%) |
| (b) 学校のPTA | 1. 非加入 (14.2%) | 2. 加入 (41.0%) | 3. 加入して積極的に活動している (44.8%) |
| (c) スポーツのサークル | 1. 非加入 (68.5%) | 2. 加入 (11.2%) | 3. 加入して積極的に活動している (20.3%) |
| (d) 趣味や文化のサークル | 1. 非加入 (67.3%) | 2. 加入 (13.6%) | 3. 加入して積極的に活動している (19.1%) |
| (e) ボランティア・NPO等の団体やサークル | 1. 非加入 (79.8%) | 2. 加入 (6.9%) | 3. 加入して積極的に活動している (13.3%) |
| (f) 子育てのサークル | 1. 非加入 (74.2%) | 2. 加入 (5.7%) | 3. 加入して積極的に活動している (20.1%) |

問16 次にあげる活動を、あなたはどの程度なさっていますか。次の(a)～(i)のそれぞれについて、もっとも近い番号に、ひとつだけ○を付けてください。

| | 必ず行く・参加する | できるだけ行く・参加する | あまり行かない・参加しない | 行ったことがない・参加していない |
|-------------------|-----------|--------------|---------------|------------------|
| (a) 地域のお祭り | 1 (7.7%) | 2 (40.8%) | 3 (43.9%) | 4 (7.4%) |
| (b) 地域での公園や道路の清掃 | 1 (2.0%) | 2 (13.2%) | 3 (32.5%) | 4 (51.3%) |
| (c) 町会・自治会の会合 | 1 (1.8%) | 2 (8.9%) | 3 (25.9%) | 4 (62.7%) |
| (d) 防犯に関する活動 | 1 (1.8%) | 2 (12.9%) | 3 (32.5%) | 4 (52.4%) |
| (e) 防災訓練 | 1 (2.5%) | 2 (18.9%) | 3 (34.7%) | 4 (43.2%) |
| (f) 子どもの見守りに関する活動 | 1 (6.0%) | 2 (31.5%) | 3 (32.0%) | 4 (29.5%) |
| (g) 高齢者の見守りに関する活動 | 1 (0.8%) | 2 (7.4%) | 3 (26.8%) | 4 (63.8%) |
| (h) 国政選挙の投票 | 1 (64.4%) | 2 (26.3%) | 3 (6.6%) | 4 (2.2%) |
| (i) 地方選挙の投票 | 1 (63.7%) | 2 (26.2%) | 3 (7.0%) | 4 (2.5%) |

問17 次にあげるような意見について、あなたはどのようにお考えですか。(a)～(h)のそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号に、ひとつだけ○を付けてください。

| | そう思う | まあそう思う | あまりそう思う | そうは思わない |
|---------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (a) 夫には家族を養う義務がある | 1 (52.4%) | 2 (39.3%) | 3 (5.9%) | 4 (1.8%) |
| (b) 妻は家事に責任をもつべきである | 1 (24.8%) | 2 (53.4%) | 3 (16.8%) | 4 (4.4%) |
| (c) 男の子と女の子は違った育て方をすべき | 1 (11.3%) | 2 (31.8%) | 3 (42.9%) | 4 (13.2%) |
| (d) 子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念した方がよい | 1 (27.8%) | 2 (33.9%) | 3 (23.2%) | 4 (14.6%) |
| (e) 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない | 1 (18.6%) | 2 (36.4%) | 3 (30.4%) | 4 (14.1%) |
| (f) 夫婦別姓が法的に認められる方がよい | 1 (15.6%) | 2 (30.0%) | 3 (40.9%) | 4 (12.7%) |
| (g) 子どもにはできるだけ高い教育を受けさせるのがよい | 1 (37.5%) | 2 (44.8%) | 3 (14.3%) | 4 (2.8%) |
| (h) 子どもの塾や家庭教師などに生活を切り詰めても出費するのは当然である | 1 (10.2%) | 2 (31.9%) | 3 (43.8%) | 4 (13.6%) |

問18 次の点についてあなたはどのようにお考えですか。(a)～(h)のそれぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号に、ひとつだけ○を付けてください。

| | そう思う | まあそう思う | あまりそう思う | そうは思わない | 配偶者はいない |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| (a) 子育ては、母親にとっては最優先事項である | 1 (45.6%) | 2 (46.7%) | 3 (5.8%) | 4 (1.2%) | |
| (b) 自分はまわりの期待通りに子育てをやっている | 1 (7.4%) | 2 (45.8%) | 3 (37.4%) | 4 (8.0%) | |
| (c) 子どもの教育や進学実績については、母親のほうが実質的に責任をもっている | 1 (15.9%) | 2 (38.1%) | 3 (35.5%) | 4 (9.6%) | |
| (d) 子どもの話をゆっくり聞く余裕がない | 1 (3.4%) | 2 (16.6%) | 3 (42.8%) | 4 (36.4%) | |
| (e) 子どもの教育にかけるお金に余裕がない | 1 (10.7%) | 2 (22.4%) | 3 (38.2%) | 4 (27.7%) | |
| (f) 夫には、もっと家事・育児を分担して欲しい | 1 (12.9%) | 2 (30.7%) | 3 (35.7%) | 4 (13.0%) | 5 (6.1%) |
| (g) 子育てに関する自分の頑張りに対して、夫の評価が低い | 1 (12.9%) | 2 (18.0%) | 3 (37.8%) | 4 (23.5%) | 5 (6.1%) |
| (h) 家事に関する自分の頑張りに対して、夫の評価が低い | 1 (13.3%) | 2 (19.3%) | 3 (36.0%) | 4 (23.5%) | 5 (6.1%) |

問19 以下の質問について、あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。なお、配偶者(夫)が
いらっしゃらない場合は「あなた」の欄だけお答えください。

| | あなた | 配偶者(夫) |
|--|--|---|
| (1) 最後に卒業した学校はどちらですか。 【○はひとつ】 | 1. 中学校 (0.7%) 2. 高校 (15.2%) 3. 短大・高専・専門学校・専修学校 (42.8%) 4. 大学・大学院 (40.7%) (無回答：0.6%) | 1. 中学校 (0.8%) 2. 高校 (12.2%) 3. 短大・高専・専門学校・専修学校 (30.0%) 4. 大学・大学院 (77.4%) (無回答：0.7%) |
| (2) 国立・私立の中学や高校を卒業しましたか。 | 1. はい (53.9%) 2. いいえ (45.3%) (無回答：0.7%) | 1. はい (54.5%) 2. いいえ (44.5%) (無回答：0.9%) |
| (3) 一番上のお子さん が16歳時、どのような形で働いていらっしゃいましたか。 【○はひとつ】 | 1. 自営業・家族従業者 (7.7%) 2. 会社経営者・役員 (2.9%) 3. フルタイム(常勤)の被雇用者 (15.9%) 4. アルバイト・パートタイマー(派遣・契約社員・嘱託を含む) (41.2%) 5. 仕事はしていません (31.5%) (無回答：0.8%) | 1. 自営業・家族従業者 (12.9%) 2. 会社経営者・役員 (18.5%) 3. フルタイム(常勤)の被雇用者 (65.0%) 4. アルバイト・パートタイマー(派遣・契約社員・嘱託を含む) (0.7%) 5. 仕事はしていません (0.9%) (無回答：2.1%) |
| (4) 一番上のお子さん が16歳時についていた仕事の種類は、大きく分けてつぎのどれに当てはまりますか。 【○はひとつ】 | 1. 専門職 (16.9%) (教員、弁護士、医師、看護師、技術者など) 2. 管理職 (3.4%) (課長以上の管理職、会社役員、職員など) 3. 事務職 (25.2%) (総務・企画事務、経理事務、営業事務など) 4. 販売職 (6.1%) (小売店主、販売員、外交員など) 5. サービス職 (13.5%) (料理人、美容師、介護職、ウエイター・ウエイトレス、タクシー運転手など) 6. 生産工程・労務職 (1.8%) (大工、食品工場作業員、その他の工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など) 7. 保安職 (0.1%) (警官、自衛官、警備員など) 8. 農林漁業従事者 (0.1%) 9. 仕事はしていません (31.5%) (無回答：1.4%) | 1. 専門職 (19.8%) (教員、弁護士、医師、看護師、技術者など) 2. 管理職 (50.9%) (課長以上の管理職、会社役員、職員など) 3. 事務職 (12.7%) (総務・企画事務、経理事務、営業事務など) 4. 販売職 (4.0%) (小売店主、販売員、外交員など) 5. サービス職 (4.4%) (料理人、美容師、介護職、ウエイター・ウエイトレス、タクシー運転手など) 6. 生産工程・労務職 (4.4%) (大工、食品工場作業員、その他の工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など) 7. 保安職 (1.2%) (警官、自衛官、警備員など) 8. 農林漁業従事者 (0.0%) 9. 仕事はしていません (0.9%) (無回答：1.7%) |

| | あなた | 配偶者(夫) |
|---|--|---|
| (5) 一番上のお子さん が16歳時のお勤め先の従業員数は、会社全体でどのくらいでしたか。 【○はひとつ】 | 1. 5人未満 (12.4%) 2. 5~30人未満 (18.2%) 3. 30~300人未満 (15.4%) 4. 300~1000人未満 (6.7%) 5. 1000人以上 (9.9%) 6. 官公庁 (4.3%) 7. 仕事はしていません (31.5%) (無回答：1.6%) | 1. 5人未満 (13.3%) 2. 5~30人未満 (9.7%) 3. 30~300人未満 (17.2%) 4. 300~1000人未満 (12.4%) 5. 1000人以上 (38.3%) 6. 官公庁 (6.3%) 7. 仕事はしていません (0.9%) (無回答：1.9%) |
| (6) 一番上のお子さん が16歳時の年収は税込みでいくらくらいでしたか。 【○はひとつ】 | 1. なし (29.9%) 2. 300万円未満 (48.0%) 3. 300~600万円未満 (9.9%) 4. 600~900万円未満 (6.2%) 5. 900~1200万円未満 (2.1%) 6. 1200~1500万円未満 (0.5%) 7. 1500万円以上 (0.8%) (無回答：2.6%) | 1. なし (0.6%) 2. 300万円未満 (3.1%) 3. 300~600万円未満 (16.5%) 4. 600~900万円未満 (24.8%) 5. 900~1200万円未満 (26.6%) 6. 1200~1500万円未満 (12.1%) 7. 1500万円以上 (13.2%) (無回答：3.2%) |

問20 あなたは以下の各時点でお仕事をなささっていましたか。それぞれあてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

(1) 結婚する前

| | | | |
|--------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 1. 働いていなかった (2.5%) | 2. フルタイムで就業 (86.8%) | 3. パートタイムで就業 (6.1%) | 4. 自営業で就業 (3.7%) |
|--------------------|---------------------|---------------------|------------------|

SQ: (2~4.と回答した方に) どのような職種のお仕事ですか。
(無回答：0.9%)

| | | | | |
|----------------|---------------|----------------|--------------------|----------------|
| 1. 専門職 (25.1%) | 2. 管理職 (1.0%) | 3. 事務職 (52.5%) | 4. 販売・サービス職 (4.1%) | 5. その他 (15.8%) |
|----------------|---------------|----------------|--------------------|----------------|

(無回答：1.5%)

(2) 結婚直後

| | | | |
|---------------------|---------------------|----------------------|------------------|
| 1. 働いていなかった (39.3%) | 2. フルタイムで就業 (40.6%) | 3. パートタイムで就業 (14.9%) | 4. 自営業で就業 (4.6%) |
|---------------------|---------------------|----------------------|------------------|

SQ: (2~4.と回答した方に) どのような職種のお仕事ですか。
(無回答：0.6%)

| | | | | |
|----------------|---------------|----------------|--------------------|----------------|
| 1. 専門職 (27.1%) | 2. 管理職 (1.9%) | 3. 事務職 (47.2%) | 4. 販売・サービス職 (4.6%) | 5. その他 (17.1%) |
|----------------|---------------|----------------|--------------------|----------------|

(無回答：2.2%)

(3) 一番上のお子さんを出産した1年後

| | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 1. 働いていなかった (76.3%) | 2. フルタイムで就業 (13.8%) | 3. パートタイムで就業 (4.7%) | 4. 自営業で就業 (4.4%) |
|---------------------|---------------------|---------------------|------------------|

SQ: (2~4.と回答した方に) どのような職種のお仕事ですか。
(無回答：0.8%)

| | | | | |
|----------------|---------------|----------------|--------------------|----------------|
| 1. 専門職 (38.7%) | 2. 管理職 (4.0%) | 3. 事務職 (31.8%) | 4. 販売・サービス職 (6.1%) | 5. その他 (15.8%) |
|----------------|---------------|----------------|--------------------|----------------|

(無回答：3.6%)

(4) 一番上のお子さんが小学校6年生の時

| | | | |
|---|---------------------|----------------------|--------------------|
| 1. 働いていなかった (46.7%) | 2. フルタイムで就業 (15.8%) | 3. パートタイムで就業 (29.0%) | 4. 自営業で就業 (7.8%) |
| SQ: (2～4.と回答した方に) どのような職種のお仕事ですか。 (無回答: 0.7%) | | | |
| 1. 専門職 (25.3%) | 2. 管理職 (4.2%) | 3. 事務職 (31.8%) | 4. 販売・サービス職 (5.8%) |
| 5. その他 (無回答: 7.0%) | | | |

(5) 一番上のお子さんが中学校3年生の時

| | | | |
|---|---------------------|----------------------|--------------------|
| 1. 働いていなかった (34.3%) | 2. フルタイムで就業 (18.2%) | 3. パートタイムで就業 (38.5%) | 4. 自営業で就業 (8.4%) |
| SQ: (2～4.と回答した方に) どのような職種のお仕事ですか。 (無回答: 0.7%) | | | |
| 1. 専門職 (23.7%) | 2. 管理職 (4.3%) | 3. 事務職 (32.3%) | 4. 販売・サービス職 (5.3%) |
| 5. その他 (無回答: 8.7%) | | | |

問 21 あなたは仕事をすることについて、現在どのようにお考えですか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| |
|--------------------------------------|
| 1. できればフルタイムで働きたい (働き続けたい) (26.1%) |
| 2. できればパートタイムで働きたい (働き続けたい) (46.7%) |
| 3. できれば自営業で働きたい (働き続けたい) (11.7%) |
| 4. できれば仕事は持たたくない (14.7%) (無回答: 0.8%) |

問 22 あなたご自身のお仕事についてお聞きます。現在働いている方のみ、お答えください。

(1) あなたは、今の勤務先あるいは自営業の仕事で、何年働いていらっしゃいますか。(6ヶ月以上の場合は1年、6ヶ月未満の場合は0年として計算してください。例えば、3年4ヶ月の場合は「3」年、3年7ヶ月の場合は「4」年と記入ください)。

| | | |
|--|---|-------------|
| | 年 | (平均: 9.44年) |
|--|---|-------------|

(2) あなたの1週間の合計労働時間はどのくらいですか(残業時間も含まれます)。

| | | |
|--|----|---------------|
| | 時間 | (平均: 29.61時間) |
|--|----|---------------|

(3) あなたの勤務先は、世田谷区内ですか。

| |
|----------------|
| 1. はい (54.8%) |
| 2. いいえ (43.6%) |
| (無回答: 1.6%) |

(4) あなたの勤務先まで、ご自宅から片道どれくらい時間がかかりますか。普段利用している交通手段でかかる時間(分)をお答えください(勤務先がご自宅の場合は「0」分とご記入ください)。

| | | |
|--|---|--------------|
| | 分 | (平均: 28.69分) |
|--|---|--------------|

12

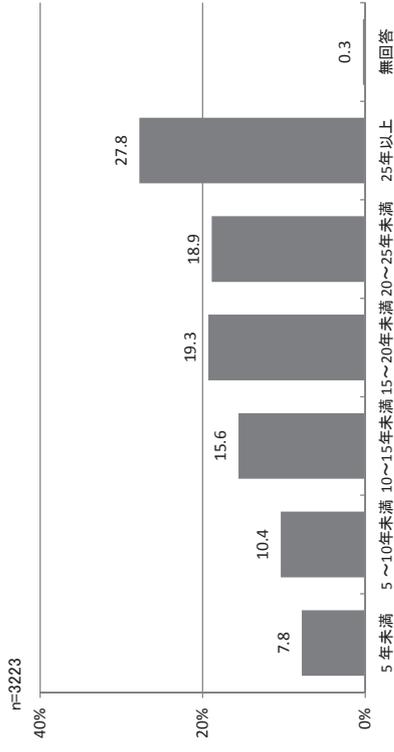
(5) あなたは勤務先からの帰宅時間が、午後9時以降になる日は、週にどのくらいありますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

| | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. ほぼ毎日 (2.5%) | 2. 週に4日くらい (2.7%) | 3. 週に3日くらい (3.3%) |
| 4. 週に2日くらい (4.9%) | 5. 週に1日くらい (6.0%) | 6. めったにない (77.9%) |
| (無回答: 2.7%) | | |

以上で質問は終わりです。
調査にご協力いただき、まことにありがとうございました。

問2 世田谷区にお住まいになって通算して何年になりますか。
【SA】

世田谷区在住の通算年数は、「25年以上」が27.8%と最も高く、次いで「15～20年未満」が19.3%、「20～25年未満」が18.9%となっている。

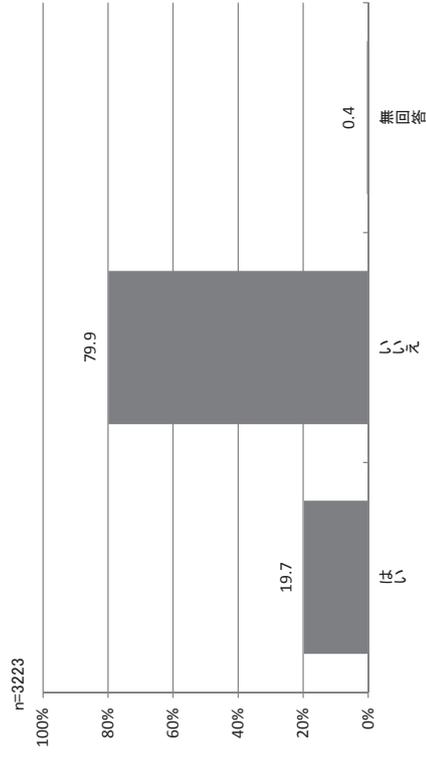


以降は、本調査の結果をグラフに整理して
それぞれコメントを収録した。

(なお、問1「住所」については除外した。)

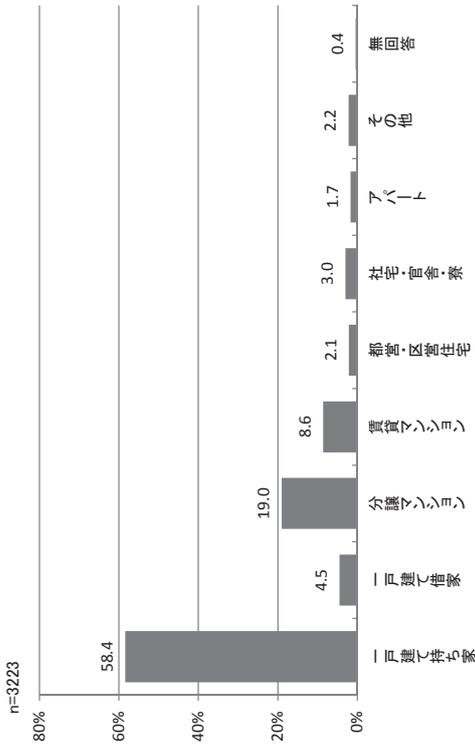
問3 あなたが中学校を卒業したときにお住まいだった場所は世田谷区内ですか。
【SA】

中学校を卒業したときにお住まいだった場所は、世田谷区内が19.7%となっている。



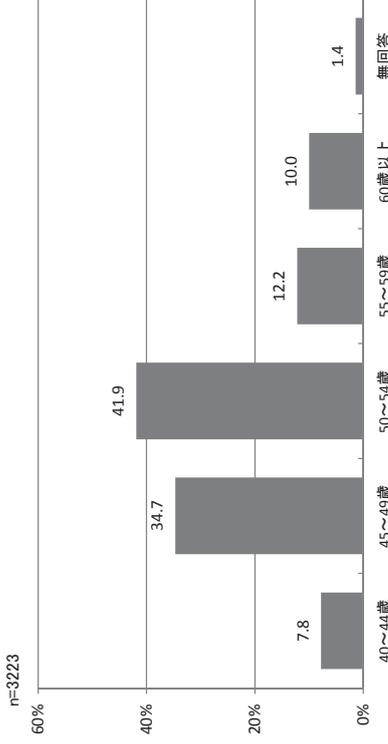
問4 現在のお住まいは次のどれにあたりませんか。
【SA】

現在のお住まいは、「一戸建て持ち家」が58.4%と最も高く、次いで「分譲マンション」が19.0%、「賃貸マンション」が8.6%となっている。



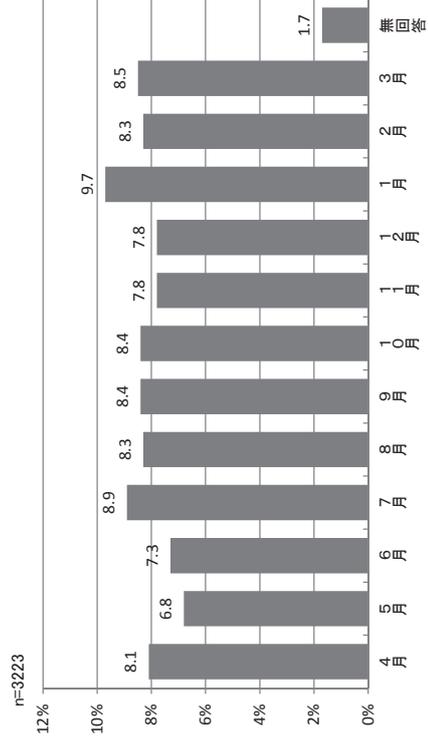
問5 年齢
【SA】

年齢は、「50～54歳」が41.9%と最も高く、次いで「45～49歳」が34.7%、「55～59歳」が12.2%となっている。



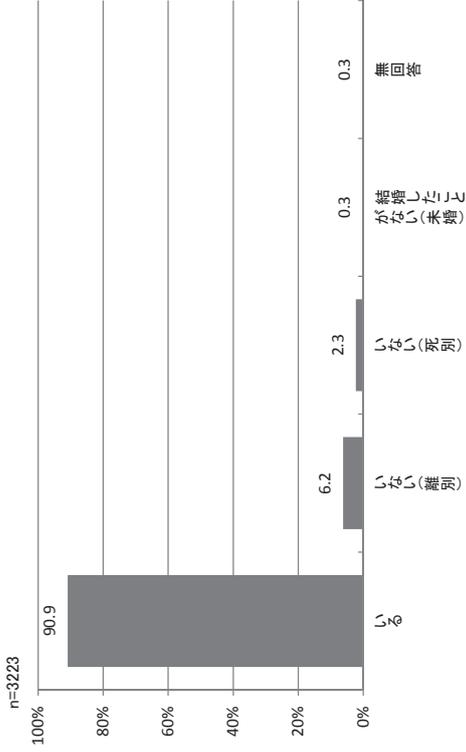
問5 生まれ月
【SA】

生まれ月は、「1月」が9.7%と最も高く、次いで「7月」が8.9%、「3月」が8.5%となっている。



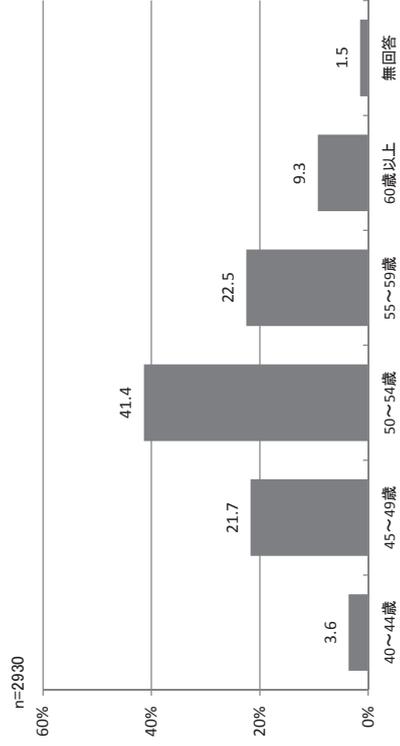
問6 現在あなたに配偶者(内縁の夫も含む)はいらっしゃいますか。
【SA】

配偶者は、「いる」が90.9%と最も高く、次いで「いない(離別)」が6.2%、「いない(死別)」が2.3%、「いない(未婚)」が0.3%となっている。



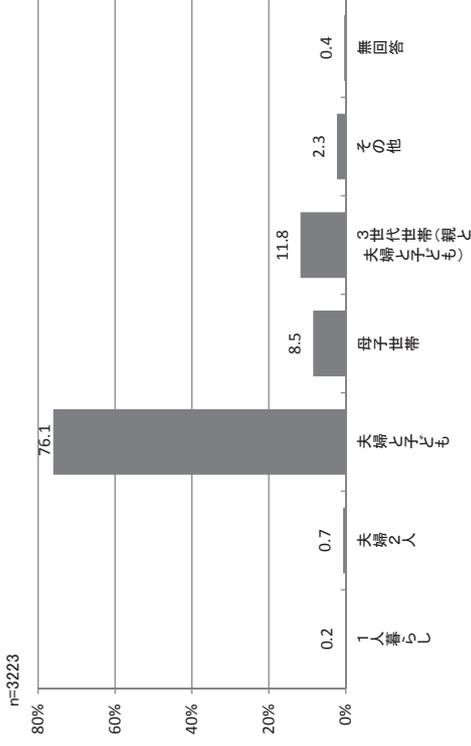
問6SQ その方は何歳ですか。
【SA】

配偶者の年齢は、「50～54歳」が41.4%と最も高く、次いで「55～59歳」が22.5%、「45～49歳」が21.7%となっている。



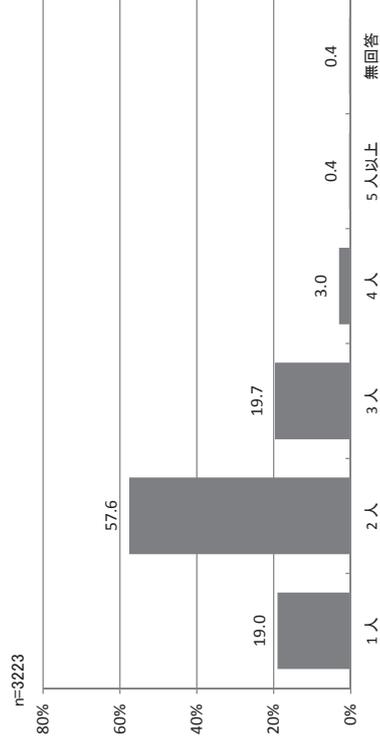
問7 あなたの世帯(同居しているご家族など)は次のうちどれにあたりますか。
【SA】

世帯構成は、「夫婦と子ども」が76.1%と最も高く、次いで「3世代世帯」が11.8%、「母子世帯」が8.5%となっている。



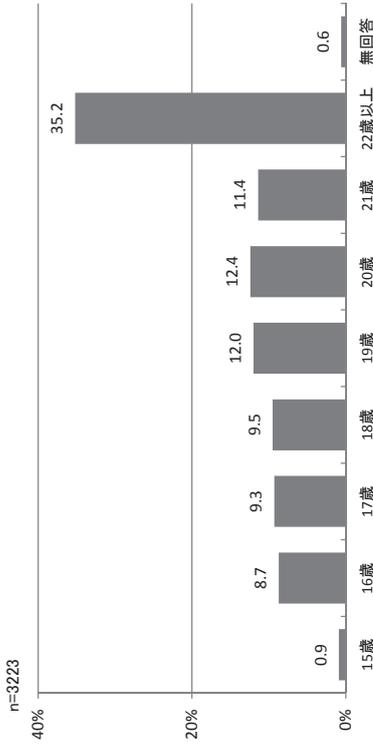
問8 お子さんは何人いらっしゃいますか。
【SA】

お子さんの人数は、「2人」が57.6%と最も高く、次いで「3人」が19.7%、「1人」が19.0%となっている。



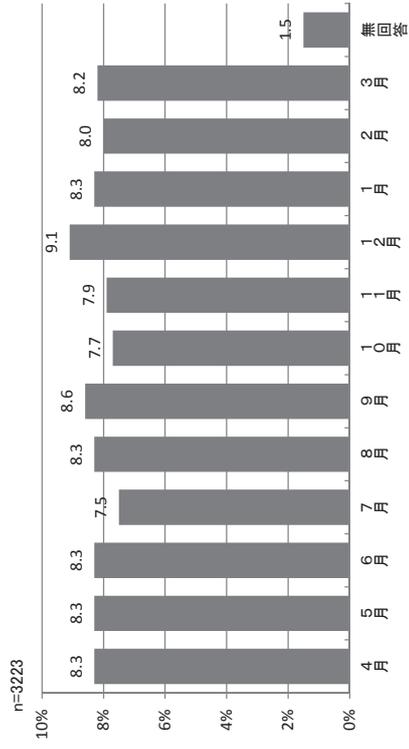
問9 一番上のお子さんについてお伺いします。
問9(1) 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。
【SA】

一番上のお子さんの年齢は、「22歳以上」が35.2%と最も高く、次いで「20歳」が12.4%、「19歳」が12.0%となっている。



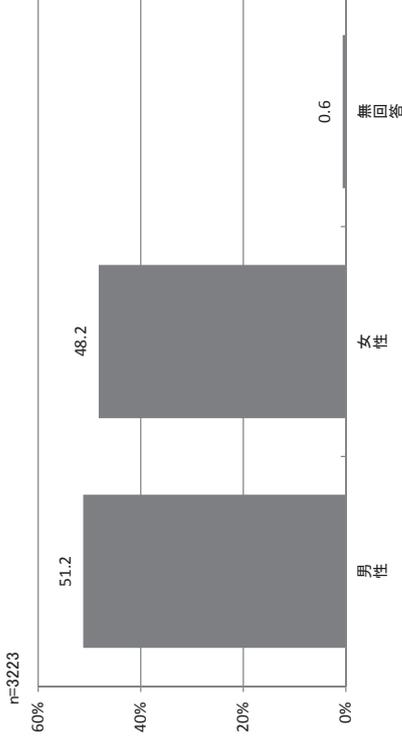
問9(1) 一番上のお子さんは何月生まれですか。
【SA】

一番上のお子さんの生まれ月は、「12月」が9.1%と最も高く、次いで「9月」が8.6%、「4月」「5月」「8月」「1月」が8.3%となっている。



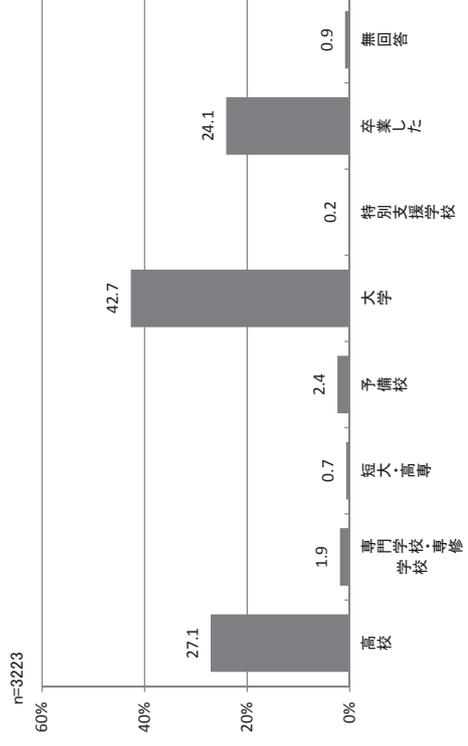
問9(2) 性別はどちらですか。
【SA】

一番上のお子さんの性別は、「男性」が51.2%、「女性」が48.2%となっている。



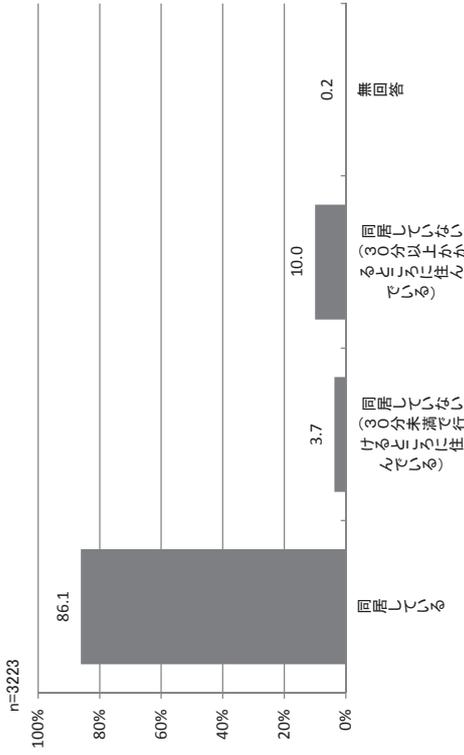
問9(3) 一番上のお子さんが現在、通学している学校は、どちらですか。
【SA】

一番上のお子さんが現在通学している学校は、「大学」が42.7%と最も高く、次いで「高校」が27.1%、「卒業した」が24.1%となっている。



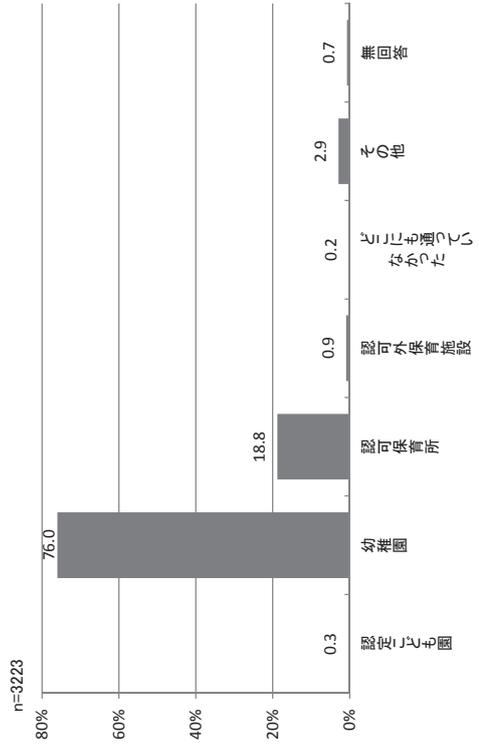
問9(4) 一番上のお子さんとは、現在、同居なさっていますか。
【SA】

一番上のお子さんとの同居は、「同居している」が86.1%と最も高く、次いで「30分以上かかるところに住んでいる」が10.0%、「30分未満で行ける」が3.7%となっている。



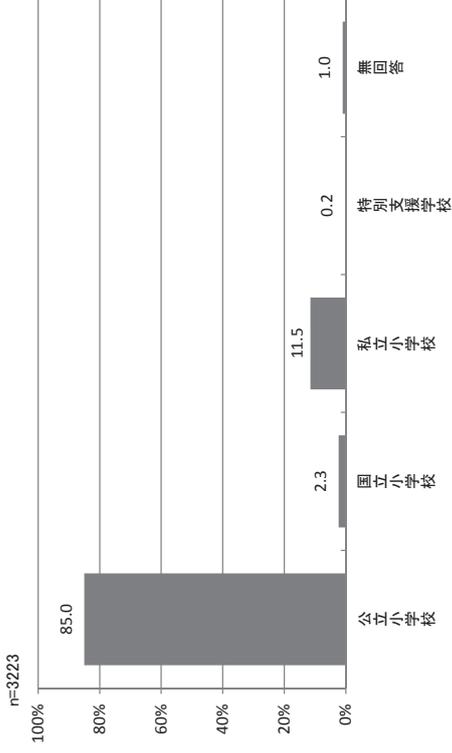
問9(5) 一番上のおさんは、小学校入学前は、どちらにお通いでしたか。
【SA】

一番上のおさんが小学校入学前に通っていた場所は、「幼稚園」が76.0%と最も高く、次いで「認可保育所」が18.8%となっている。



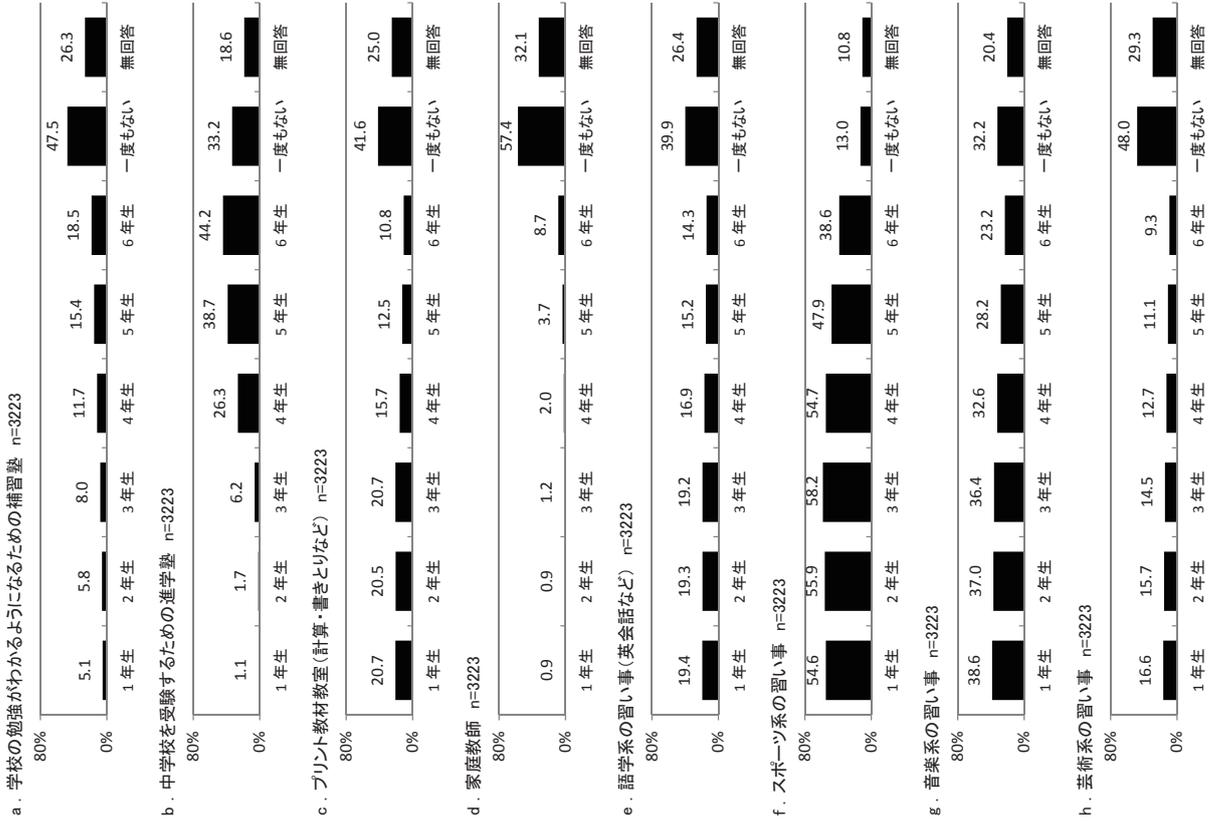
問9(6) 小学校は、どちらに通学していましたか。
【SA】

一番上のおさんが通学していた小学校は、「公立小学校」が85.0%と最も高く、次いで「私立小学校」が11.5%、「国立小学校」が2.3%となっている。



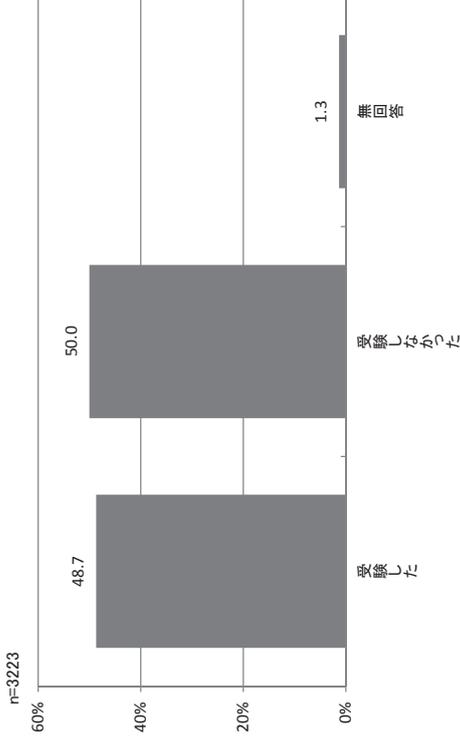
問9(7) 小学生の時に次のような学習や習い事をさせたことがありますか。
【MA】

スポーツ系の習い事では4年生以下が半数以上と高くなっている。音楽系の習い事では4年生以下が3割以上となっている。また、スポーツ系・音楽系の習い事では、4年生時から減少傾向がみられ、補習塾・進学塾では、3年生時から増加傾向がみられる。



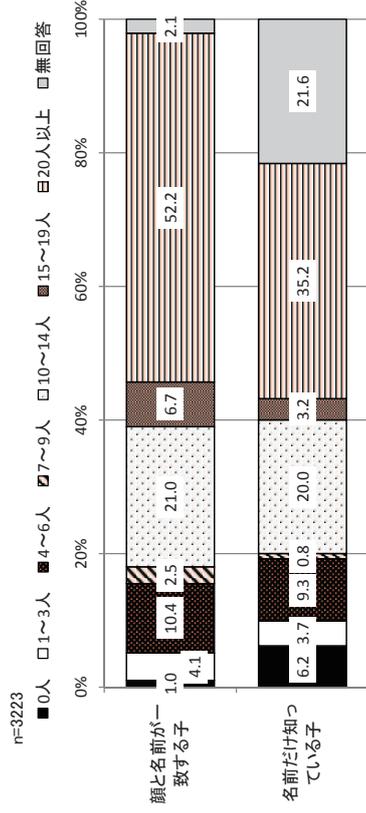
問9(8) 中学受験をなさいましたか。
【SA】

一番上のお子さんの中学受験は、「受験した」が48.7%、「受験しなかった」が50.0%となっている。



問9(9) 一番上のお子さんの小学校時代のお友達で、次のような方を何人くらいご存知でしたか。
【SA】

一番上のお子さんの小学校時代のお友達で、顔と名前が一致する子では「20人以上」が52.2%と最も高い。名前だけ知っている子でも「20人以上」が35.2%と最も高くなっている。



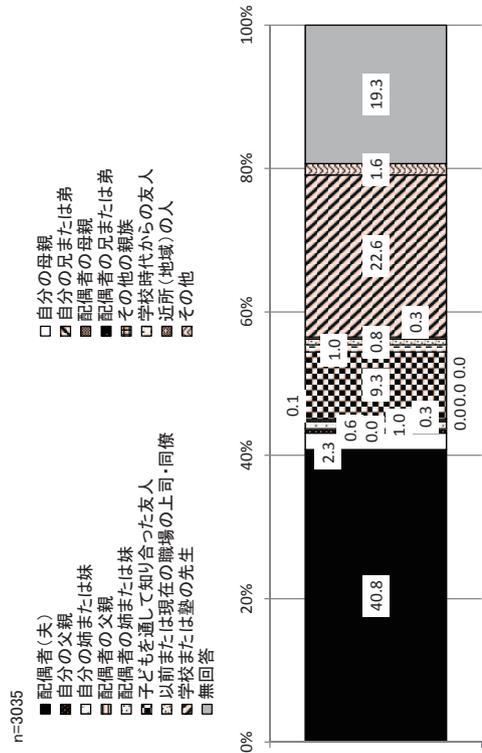
問9(10) お子さんが小学校に入学してから、お子さんの中学や高校への進学についてどのような方に相談しましたか。
【MA】

一番上のお子さんの中学や高校の進学についての相談相手は、「配偶者(夫)」が84.1%で最も高く、次いで「学校または塾の先生」が60.3%、「子どもを通して知り合った友人」が45.6%となっている。



問9(10)SQ 前問で選んだ方の中から、最も頼りになったのはどなたですか。
【SA】

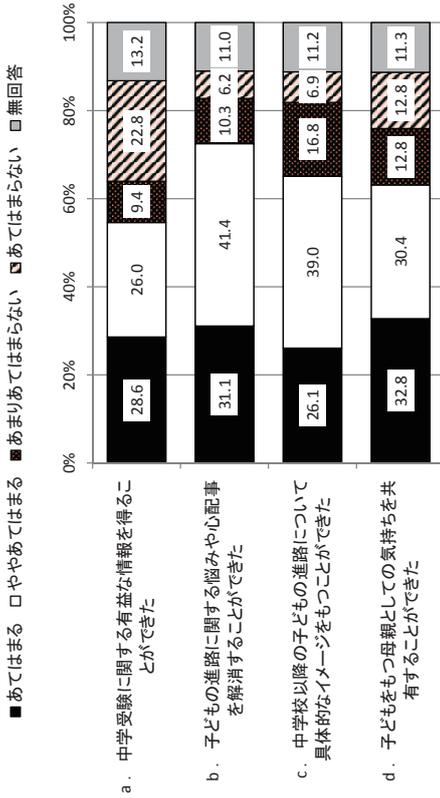
最も頼りになった相談相手は、「配偶者(夫)」が40.8%と最も高く、次いで「学校または塾の先生」が22.6%、「子どもを通して知り合った友人」が9.3%となっている。



問9(11) 前問(10)で選んだ方々にお子さんの進路を相談した時、以下のような事柄ほどのくらいあてはまりましたか。
【SA】

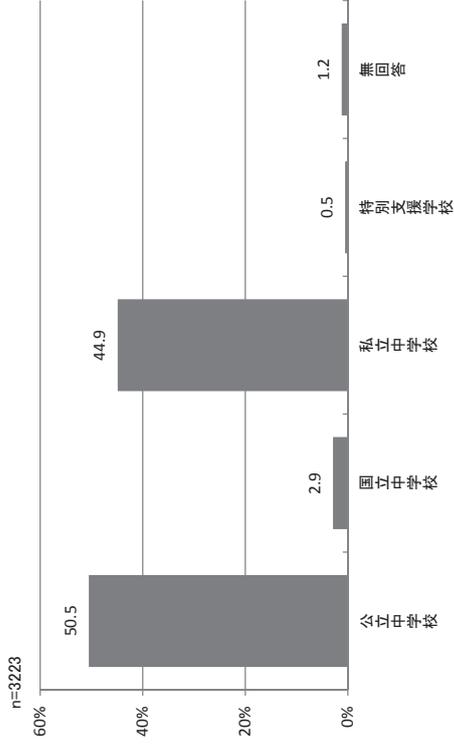
「あてはまる計」(「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計)が最も高いのは、「子どもの進路に関する悩みや心配事を解消することができた」が72.5%となり、次いで「中学校以降の子どもの進路について具体的なイメージをもつことができた」が65.1%、「子どもをもつ母親としての気持ちとしてきた」が63.2%となっている。

n=3035



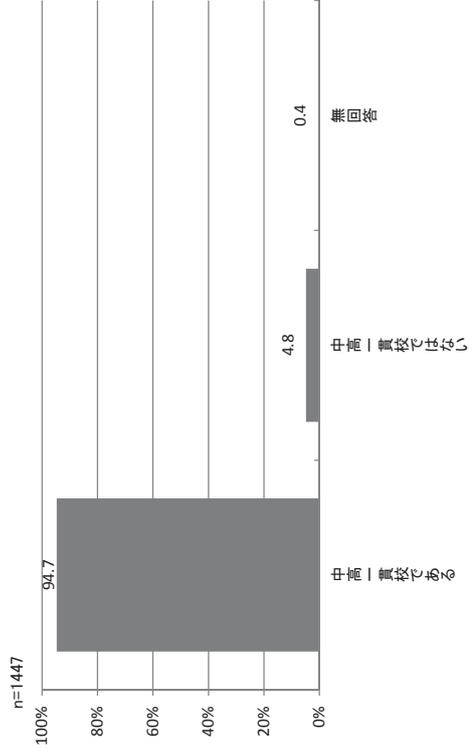
問9(12) 一番上のお子さんは、どちらの中学校に通学していましたか。
【SA】

一番上のお子さんが通学していた中学校は、「公立中学校」が50.5%と最も高く、次いで「私立中学校」が44.9%、「国立中学校」が2.9%となっている。



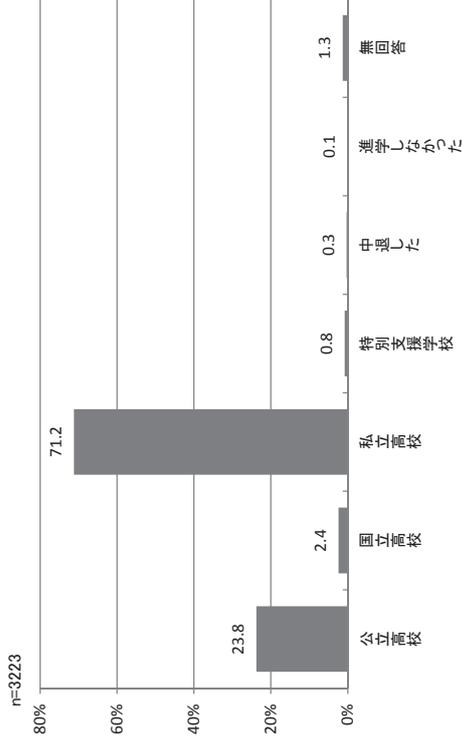
問9(12)SQ その中学校は中高一貫校ですか。
【SA】

一番上のお子さんが通学していた中学校は、「中高一貫校である」が94.7%となっている。



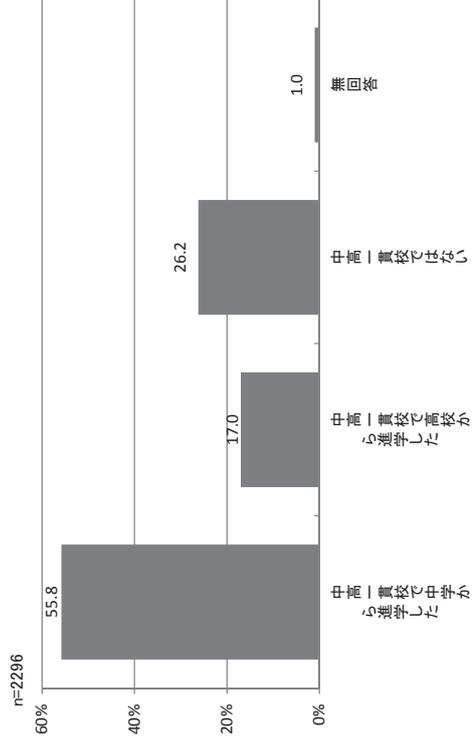
問9(13) 一番上のお子さんは、どちらの高校に通学していましたか(していますか)。
【SA】

一番上のお子さんが通学していた高校は、「私立高校」が71.2%と最も高く、次いで「公立高校」が23.8%、「国立高校」が2.4%となっている。



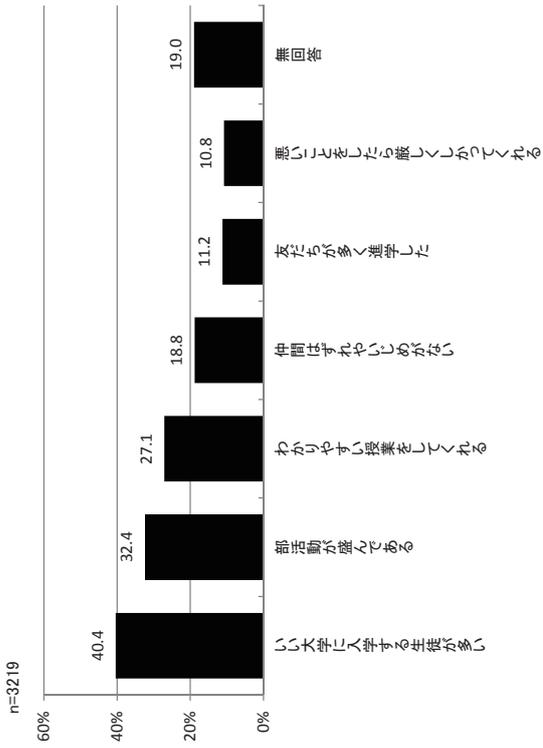
問9(13)SQ その高校は中高一貫校ですか。
【SA】

一番上のお子さんが通学していた高校は、「中高一貫校で中学から進学した」が55.8%と最も高く、次いで「中高一貫校ではない」が26.2%、「中高一貫校で高校から進学した」が17.0%となっている。



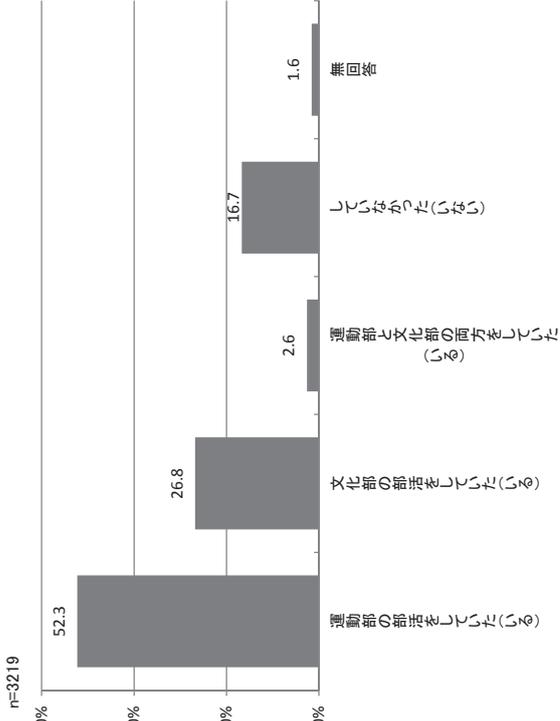
問9(14) 通学した(している)高校を選んだ理由は何か。
【MA】

一番上のお子さんの高校を選んだ理由は、「いい大学に入学する生徒が多い」が40.4%と最も高く、次いで「部活動が盛んである」が32.4%、「わかりやすい授業をしてくれる」が19.0%となっている。



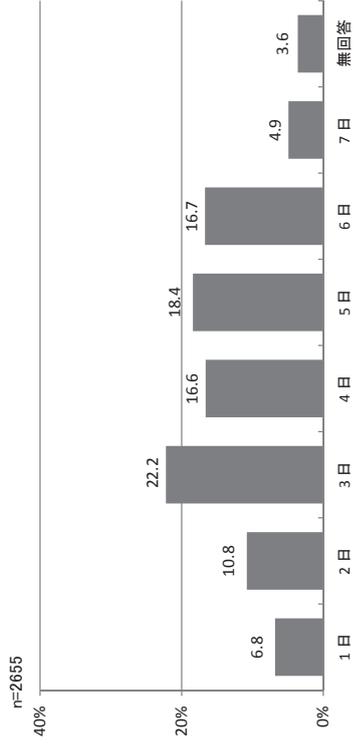
問9(15) 高校生の時に部活動をしていましたか(いますか)。
【SA】

一番上のお子さんの高校生の時の部活動は、「運動部の部活をしていた」が52.3%と最も高く、次いで「文化部の部活をしていた」が26.8%、「していなかった」が16.7%となっている。



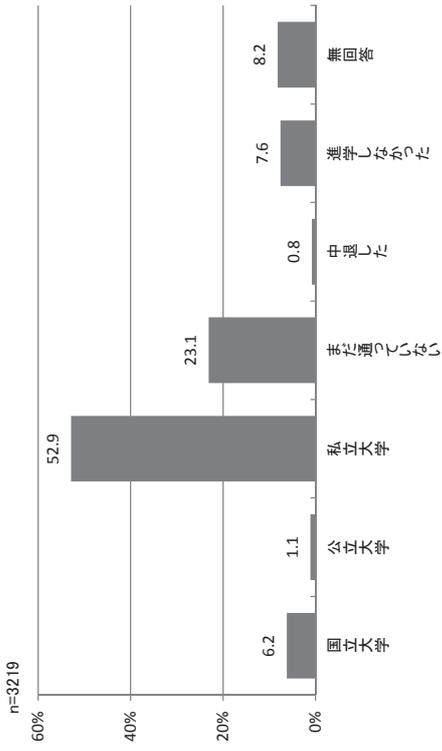
問9(15)SQ 一週間の活動日数
【SA】

一番上のお子さんが高校生時の部活の一週間の活動日数は、「3日」が22.2%と最も高く、次いで「5日」が18.4%、「6日」が16.7%、「4日」が16.6%となっている。



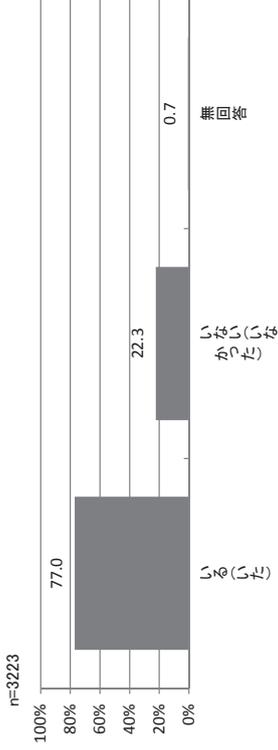
問9(16) 一番上のお子さんは、どちらの大学に通学していましたか(していますか)。
【SA】

一番上のお子さんが通学していた大学は、「私立大学」が52.9%と最も高く、次いで「まだ通っていない」が23.1%、「進学しなかった」が7.6%となっている。



問9(17) 一番上のお子さんが通った(通っている)学校や塾などを出会いのきっかけとして、あなたがおつきあいを始めた方は、いらっしゃいます(しました)か。
【SA】

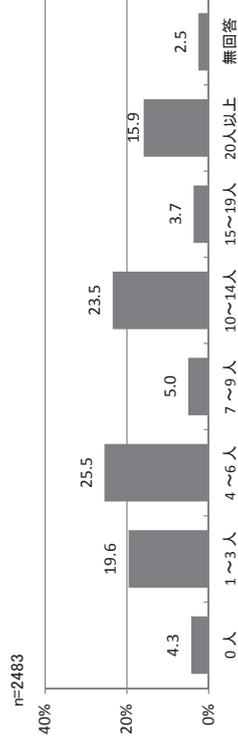
一番上のお子さんが通った学校や塾などを出会いのきっかけとして、おつきあいを始めた方が「いる(いた)」が77.0%となっている。



問9(17)SQ お子さんが小学校6年生の時、そのような方は何人いらっしゃいましたか。

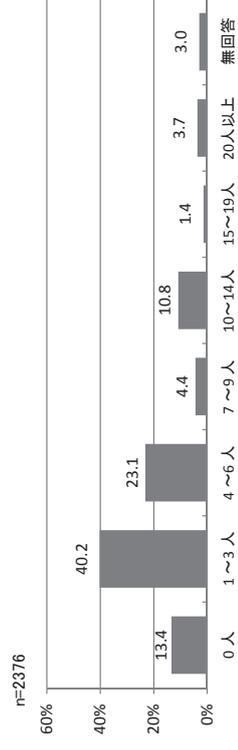
【SA】

一番上のお子さんが小学校6年生の時、通った学校や塾などを出会いのきっかけとして、おつきあいを始めた人数は、「4~6人」が25.9%と最も高く、「10~14人」が23.5%、「1~3人」が19.6%となっている。



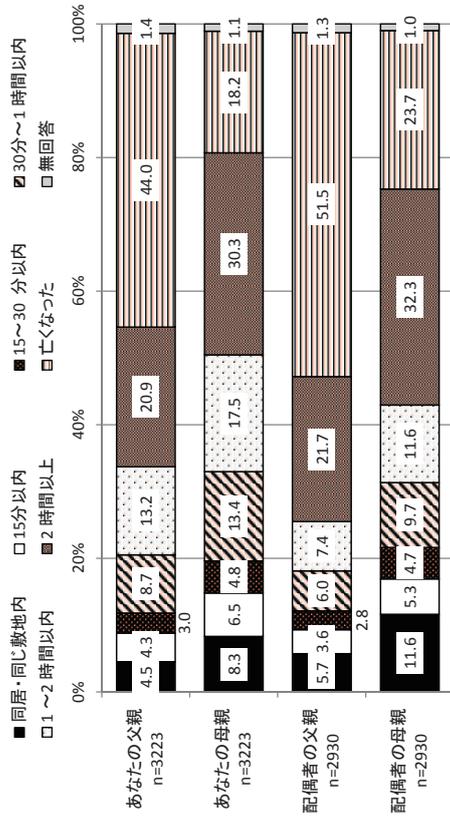
問9(17)SQSQ 今もおつきあいがあるのは、何人ですか。
【SA】

今もおつきあいがある人数は、「1~3人」が40.2%と最も高く、「4~6人」が23.1%、「10人」が13.4%となっている。



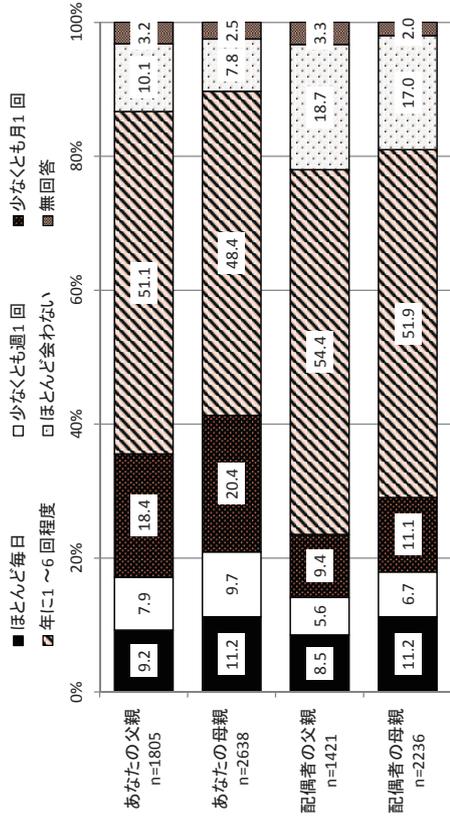
問10 あなたのご両親についてうかがいます。配偶者がいらっしゃる方は、配偶者の父親／母親についてもお答えください。
問10(1) どちらに住んでいらっしゃいますか。【SA】

両親の住んでいる場所は、あなたと配偶者の父親では「亡くなった」が4割以上と高く、あなたと配偶者の母親では「2時間以上」が3割台となっている。



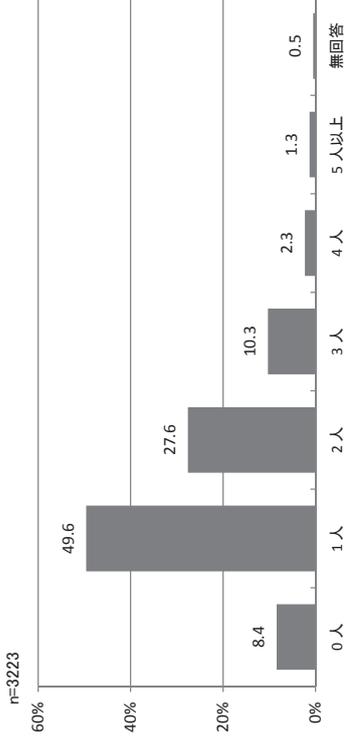
問10(2) どの程度会っていらっしゃいますか。【SA】

両親に会う頻度は、あなたと配偶者の父親母親ともに「年に1~6回程度」が8割程度であり、最も高くなっている。



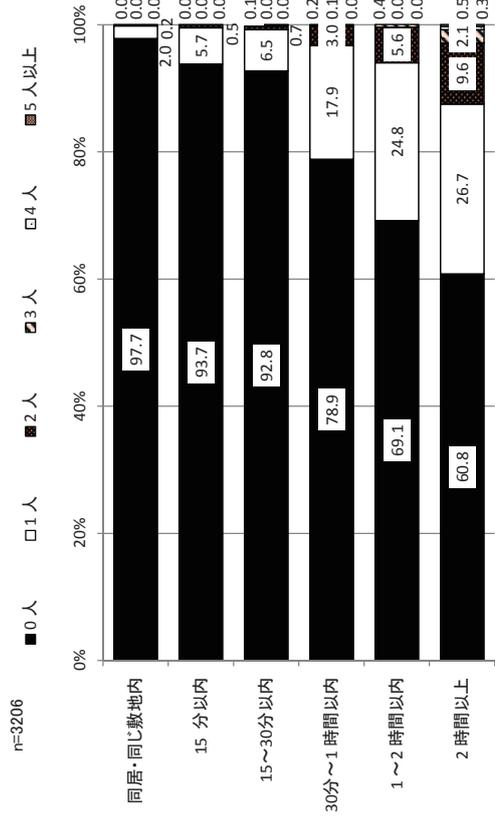
問11(1) あなたのきょうだいは何人ですか。【SA】

きょうだいの人数は、「1人」が49.6%と最も高く、次いで「2人」が27.6%、「3人」が10.3%となっている。



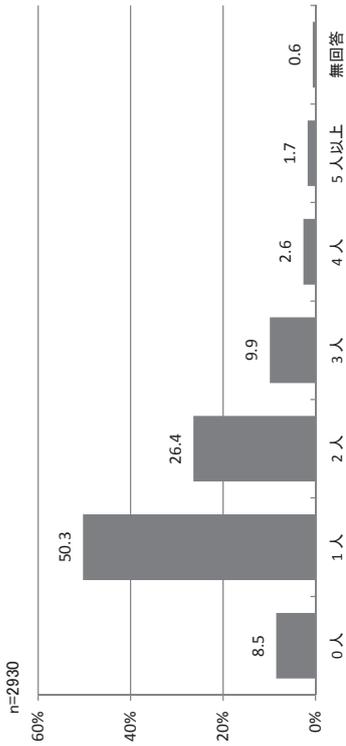
問11(1)SQ どちらにお住まいですか。【SA】

きょうだいの「住まい」(「1人」~「5人以上」の合計)は、時間がかかるほど割合が高くなっている。特に「1時間以上」では「1人」が2割台と高くなっている。



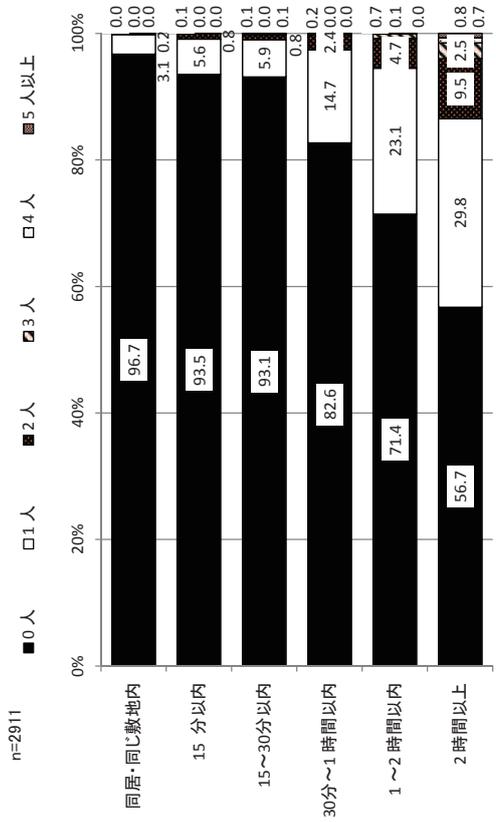
問11(2) あなたの夫のきょうだいは何人ですか。
【SA】

夫のきょうだいの人数は、「1人」が50.3%と最も高く、「3人」が9.9%となっている。



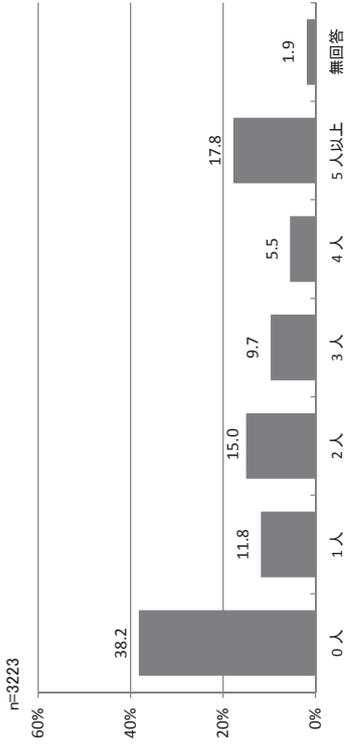
問11(2)SQ どちらにお住まいですか。
【SA】

夫のきょうだいの「住まい」(「1人」～「5人以上」の合計)は、時間がかかるほど割合が高くなっていて、特に2時間以上では「1人」が約3割と高くなっている。



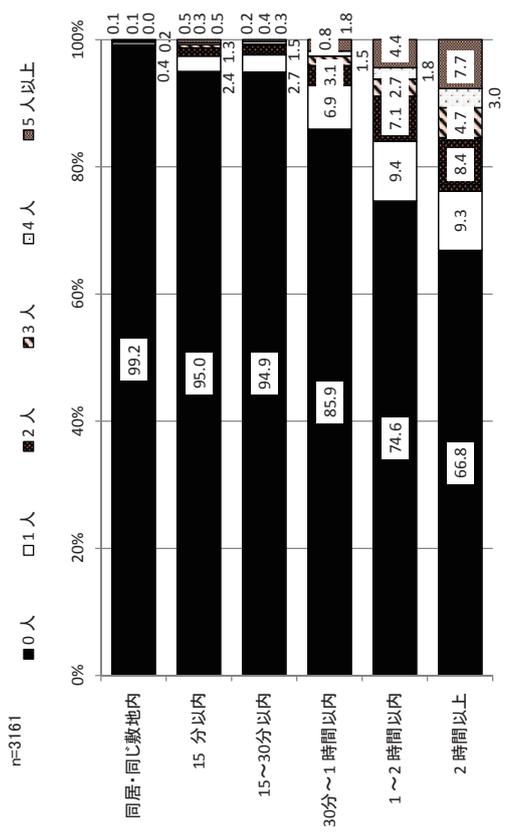
問11(3) 親、きょうだい以外で親しくしている親せきは何人ですか。
【SA】

親、きょうだい以外で親しくしている親せきの人数は、「0人」が38.2%と最も高く、次いで「5人以上」が17.8%、「2人」が15.0%となっている。



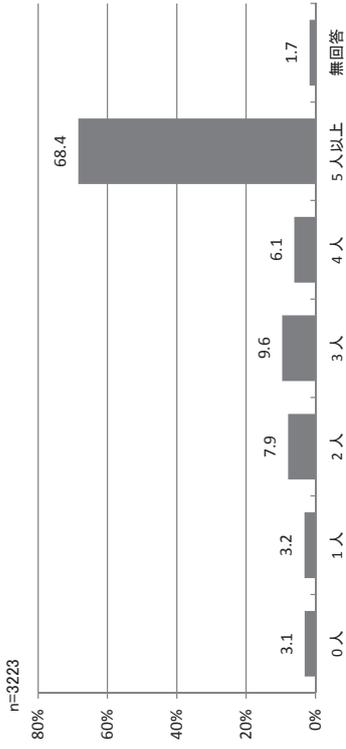
問11(3)SQ どちらにお住まいですか。
【SA】

親、きょうだい以外で親しくしている親せきの「住まい」(「1人」～「5人以上」の合計)は、時間がかかるほど割合が高くなっている。



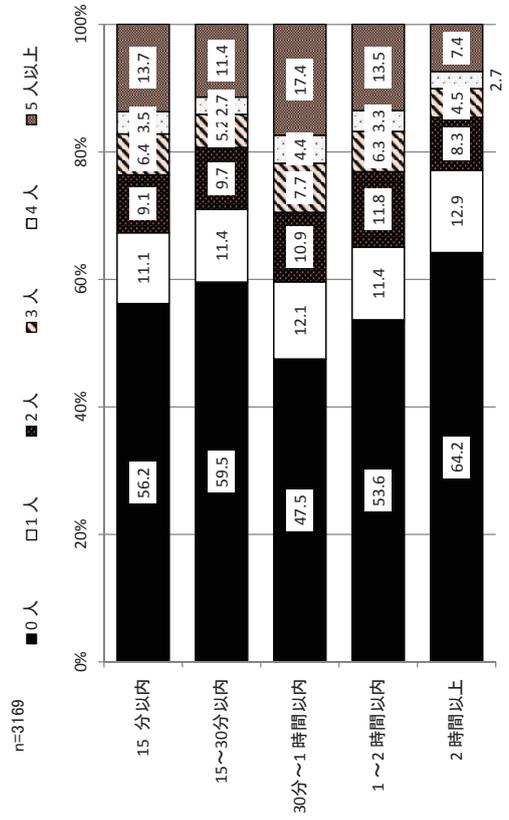
問11(4) あなたが頼りしている友人は何人ですか。
【SA】

頼りしている友人の人数は、「5人以上」が68.4%と最も高く、次いで「3人」が9.6%、「2人」が7.9%、「1人」が3.2%、「0人」が3.1%となっており、



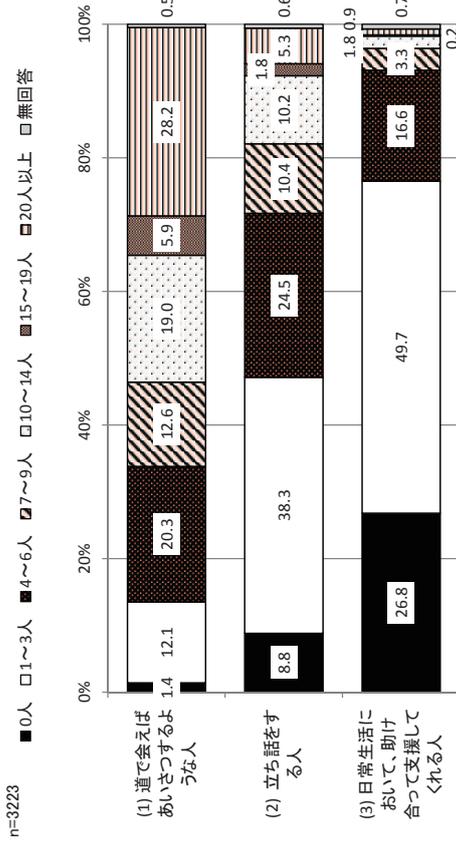
問11(4)SQ どちらにお住まいですか。
【SA】

頼りしている友人の「住まい」(「1人」~「5人以上」の合計)は、30分~1時間以内が52.5%と最も高くなっている。



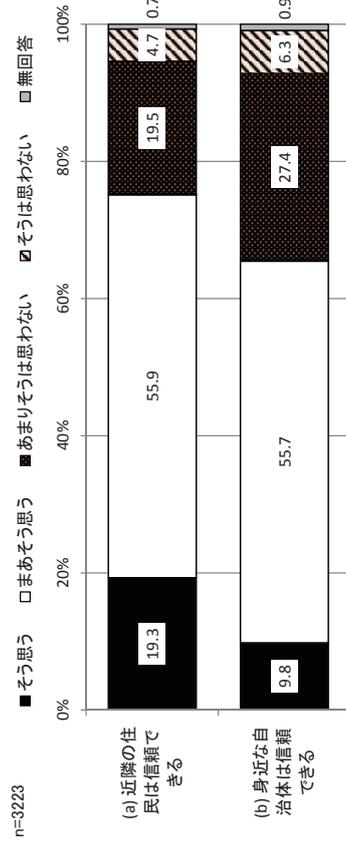
問12 あなたがお住まいのご近所で、次のような方は何人くらいいらっしゃいますか。
【SA】

道で会えばあいさつする人では「20人以上」が28.2%、立ち話をする人では「1~3人」が38.3%と最も高く、日常生活において、助け合って支障してくれる人では「1~3人」が49.7%と約半数を占めている。



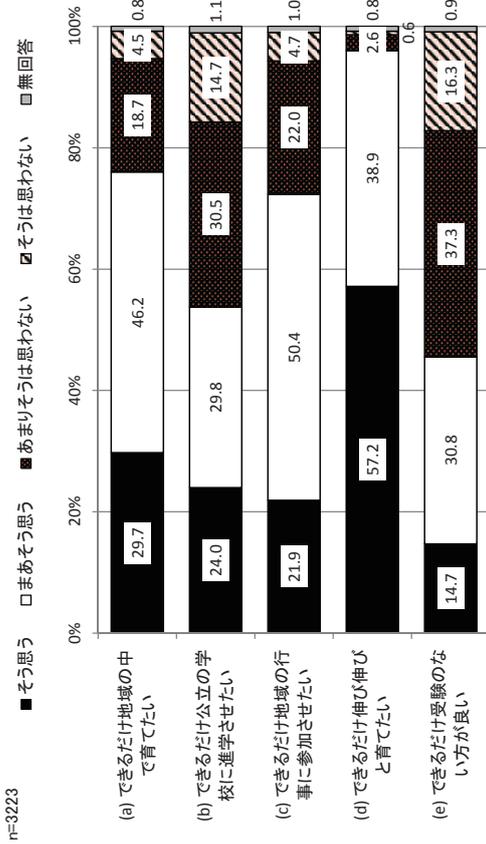
問13 次にあげるような意見について、あなたはどうのようにお考えですか。
【SA】

「そう思う計」(「そう思う」と「まあそう思う」の合計)の割合は、「近隣の住民は信頼できる」が75.2%、「身近な自治体は信頼できる」が65.5%となっている。



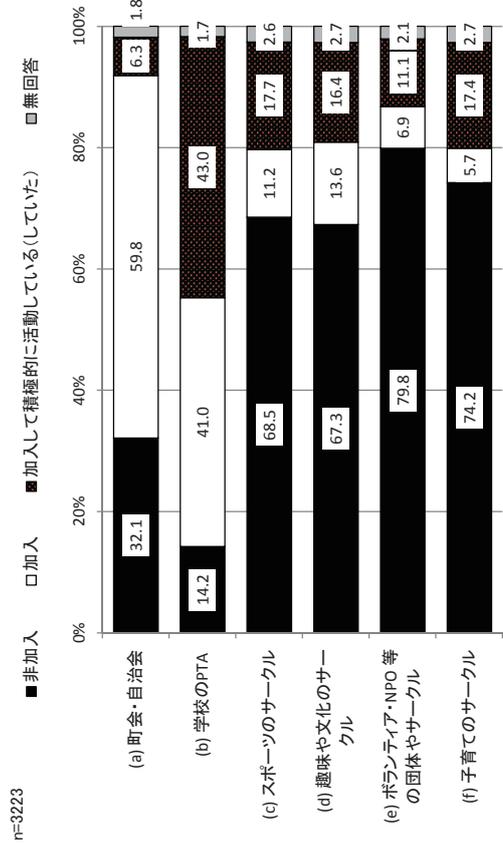
問14 子育てや子どもの教育について、次にあげるような意見について、あなたはどのようなようにお考えですか。
【SA】

「そう思う計」「(そう思う)」「(まあそう思う)の合計」が最も高いのは、「できるだけ伸び伸びと育てたい」が96.1%となっており、次いで「できるだけ地域の中で育てたい」が75.9%、「できるだけ地域の行事に参加させたい」が72.3%となっている。



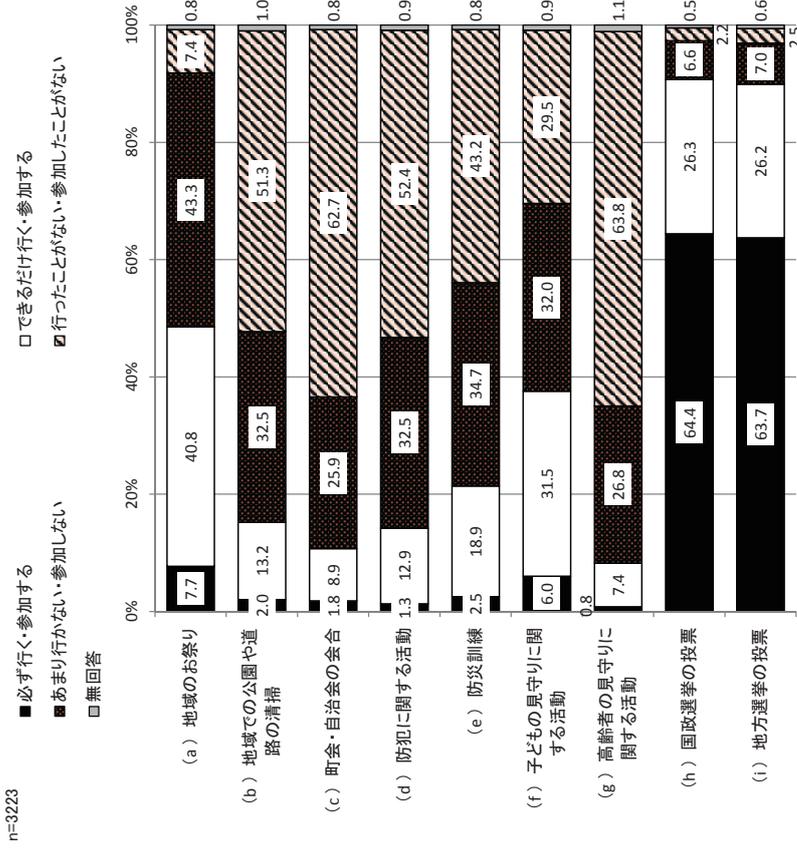
問15 あなたは次にあげる団体・組織に加入していますか。
【SA】

「加入計」「(加入)」「(加入して積極的に活動している)の合計」が最も高いのは、「学校のPTA」が84.0%となっており、次いで「町会・自治会」が66.1%、「趣味や文化のサークル」が30.0%となっている。



問16 次にあげる活動を、あなたはどの程度なさっていますか。
【SA】

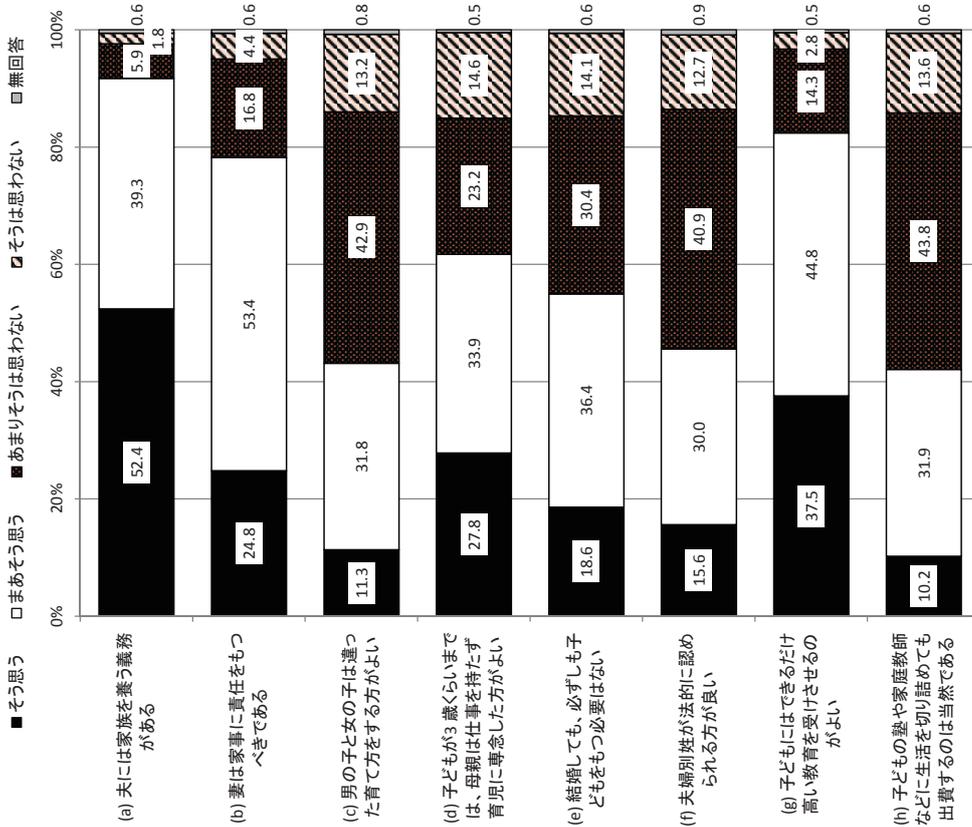
「行く・参加意向あり計」「(必ず行く・参加する)」「(できるだけ行く・参加する)の合計」が最も高いのは、「国政選挙の投票」が90.7%となっており、次いで「地方選挙の投票」が89.9%、「地域のお祭り」が48.5%となっている。



問17 次にあげるような意見について、あなたはどのようにお考えですか。
【SA】

「そう思う計」(「そう思う」と「まあそう思う」の合計)が最も高いのは、「夫には家族を養う義務がある」が91.7%となり、次いで「子どもにはできるだけ高い教育を受けさせるのがよい」が82.3%、「妻は家事に責任をもつべきである」が78.2%となっている。

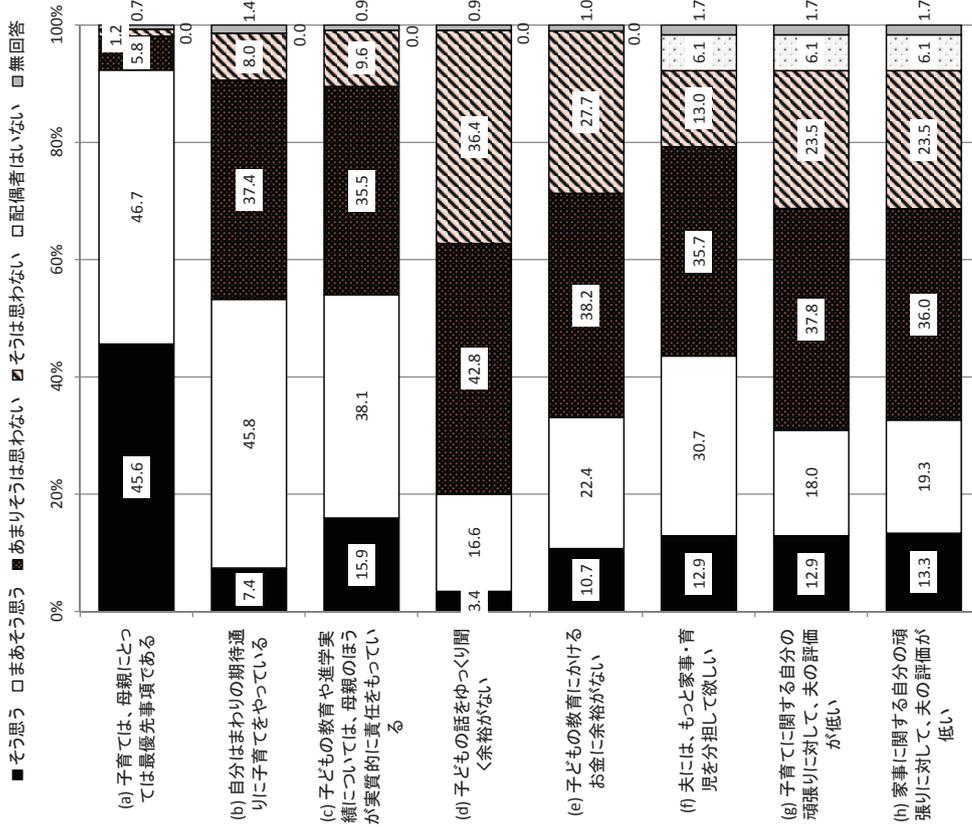
n=3223



問18 次の点について、あなたはどのようにお考えですか。
【SA】

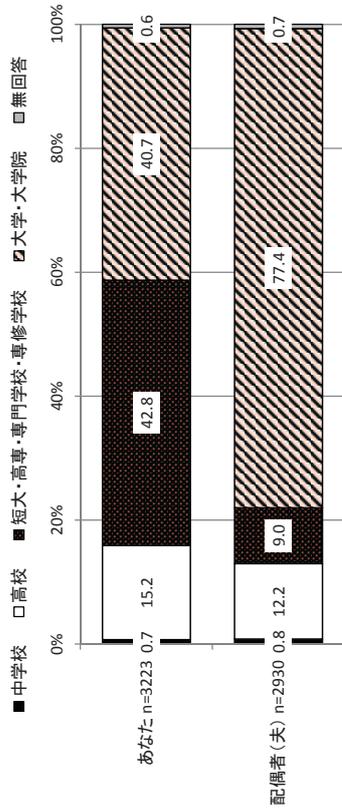
「そう思う計」(「そう思う」と「まあそう思う」の合計)が最も高いのは、「子育ては、母親によって最優先事項である」が92.3%となり、次いで「子どもの教育や進学実績については、母親のほうが実質的に責任をもっている」が54.0%、「自分はまわりの期待通りに子育てをやっている」が53.2%となっている。

n=3223



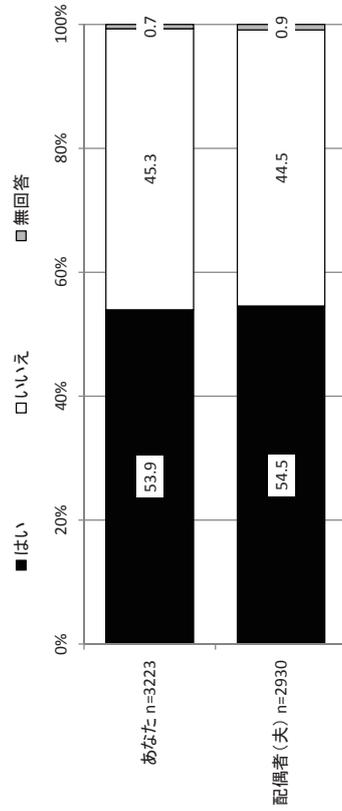
問19(1) 最後に卒業した学校はどちらですか。
【SA】

最後に卒業した学校で最も高いのは、あなたでは「短大・高専・専門学校・専修学校」が42.8%、配偶者(夫)では「大学・大学院」が77.4%となっている。



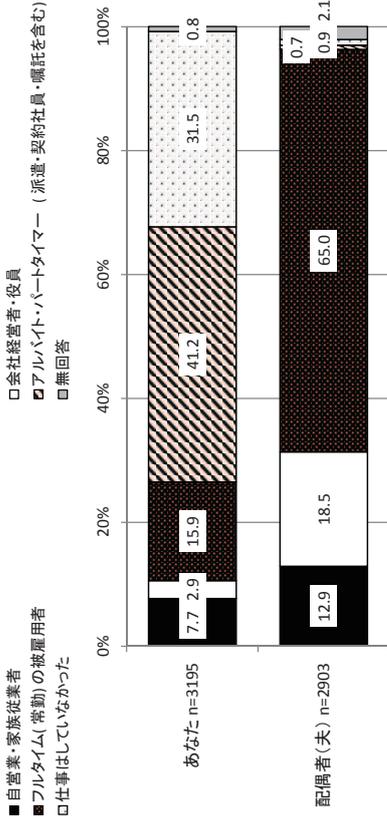
問19(2) 国立・私立の中学や高校を卒業しましたか。
【SA】

国立・私立の中学や高校を卒業した割合は、あなたでは53.9%、配偶者(夫)では54.5%となっている。



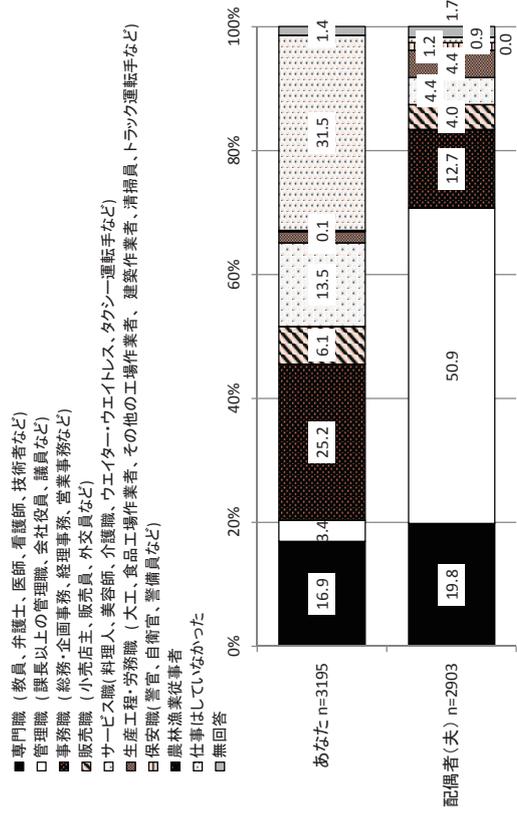
問19(3) 一番上のお子さんが16歳時、どのような形で働いていらっしゃいましたか。
【SA】

一番上のお子さんが16歳時の雇用形態で最も高いのは、あなたでは「アルバイト・パートタイマー」が41.2%、配偶者(夫)では「フルタイムの被雇用者」が65.0%となっている。



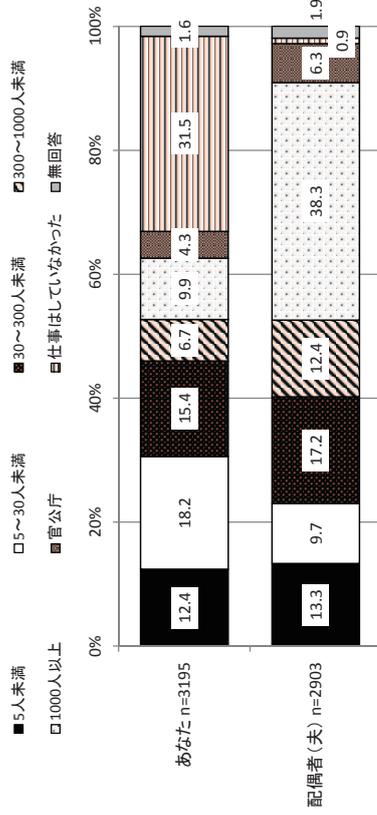
問19(4) 一番上のお子さんが16歳時についていた仕事の種類は、大きく分けてつぎのどれにあたりますか。
【SA】

一番上のお子さんが16歳時についていた仕事の種類で最も高いのは、あなたでは「事務職」が25.2%、配偶者(夫)では「管理職」が50.9%となっている。「仕事はしていなかった」は除く



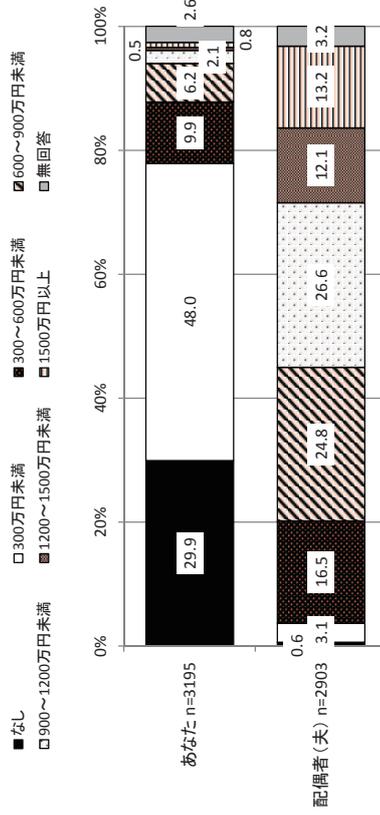
問19(5) 一番上のお子さんが16歳時のお勤め先の従業員数は、会社全体でどのくらいでしたか。
【SA】

一番上のお子さんが16歳時のお勤め先の従業員数で最も高いのは、あなたでは「5~30人未満」が18.2%、配偶者(夫)では「1000人以上」が38.3%となっている。「(仕事はしていなかった)」は除く



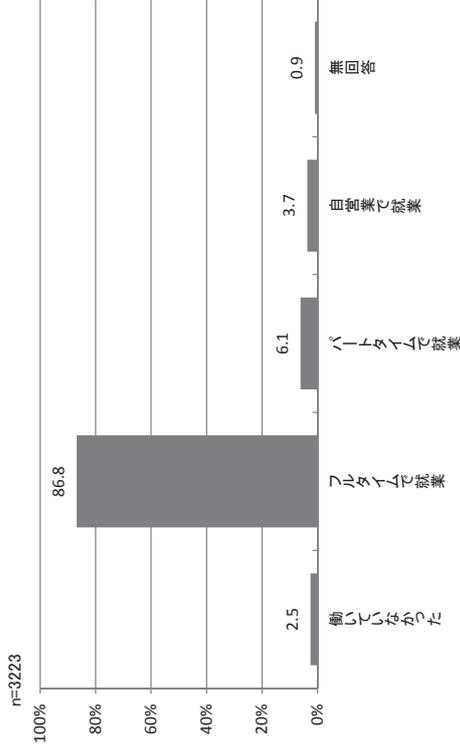
問19(6) 一番上のお子さんが16歳時の年収は税込みでいくらくらいでしたか。
【SA】

一番上のお子さんが16歳時の年収で最も高いのは、あなたでは「300万円未満」が48.0%、配偶者(夫)では「900~1200万円未満」が26.6%となっている。



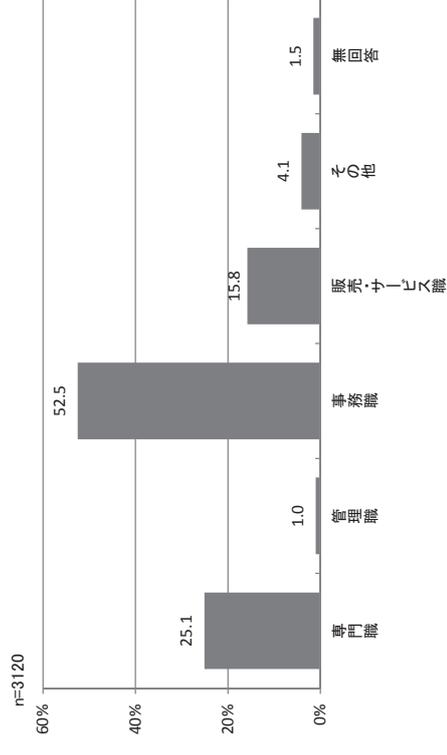
問20 あなたは以下以下の各時点でお仕事をなさっていましたか。
問20(1) 結婚する前
【SA】

結婚する前の就業状況は、「フルタイムで就業」が86.8%と最も高く、次いで「パートタイムで就業」が6.1%、「自営業で就業」が3.7%となっている。



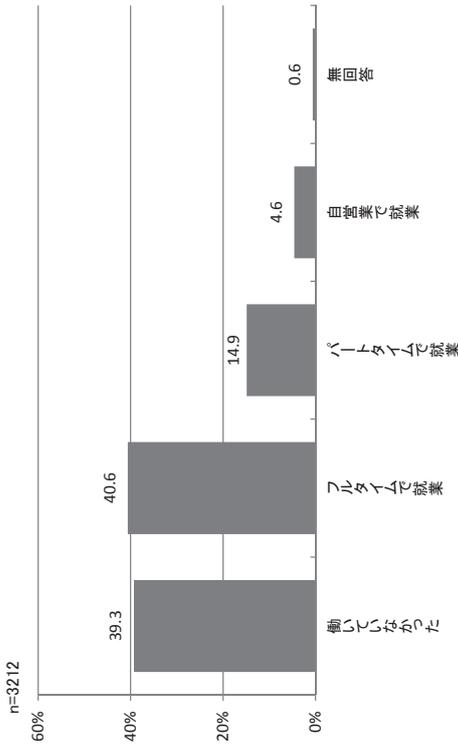
問20(1)SQ どのような職種のお仕事ですか。
【SA】

結婚する前の職種は、「事務職」が52.5%と最も高く、次いで「専門職」が25.1%、「販売・サービス職」が15.8%となっている。



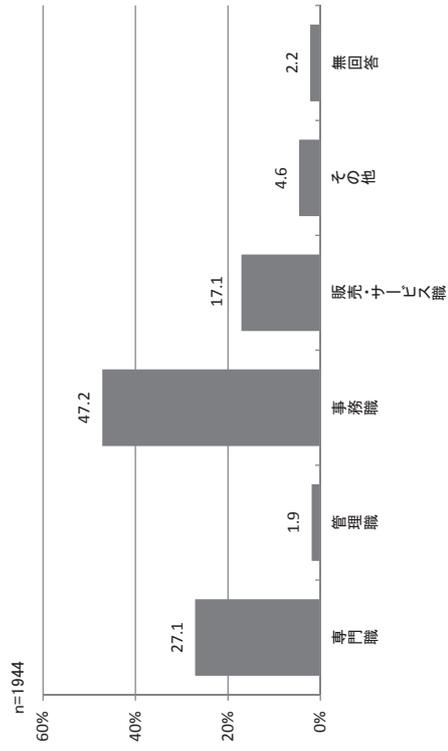
問20(2) 結婚直後
【SA】

結婚直後の就業状況は、「フルタイムで就業」が40.6%と最も高く、次いで「働いていなかった」が39.3%、「パートタイムで就業」が14.9%となっている。



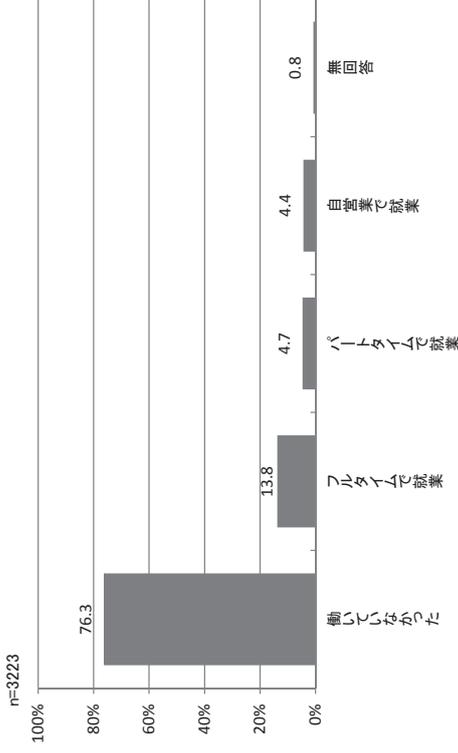
問20(2)SQ どのような職種のお仕事ですか。
【SA】

結婚直後の職種は、「事務職」が47.2%と最も高く、次いで「専門職」が27.1%、「販売・サービス職」が27.1%、「専門職」が7.1%となっている。



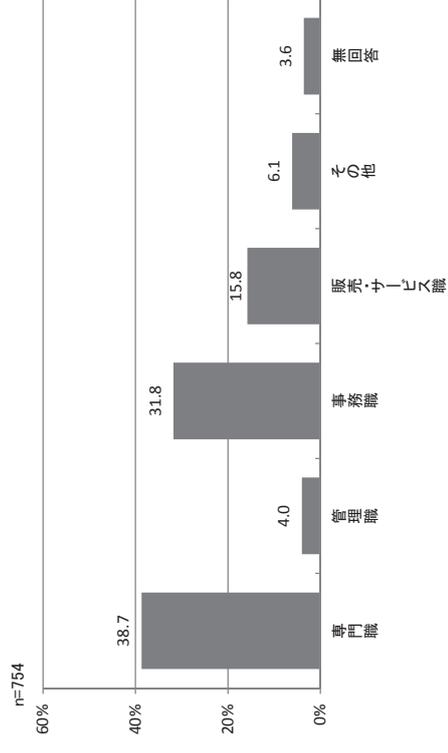
問20(3) 一番上のお子さんを出産した1年後
【SA】

一番上のお子さんを出産した1年後の就業状況は、「働いていなかった」が76.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就業」が13.8%、「パートタイムで就業」が4.7%となっている。



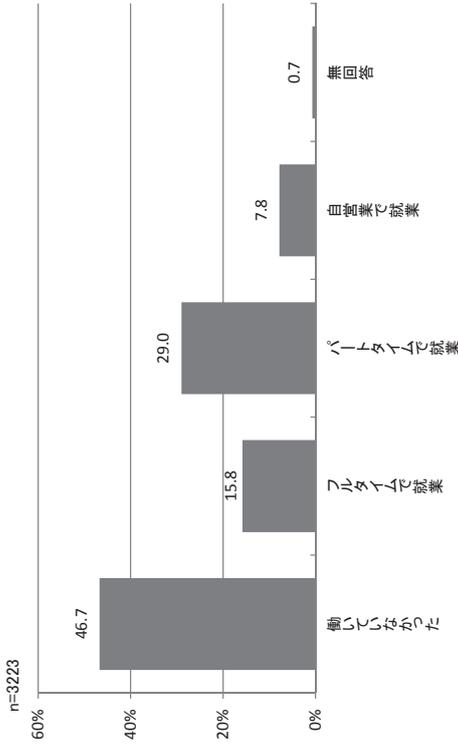
問20(3)SQ どのような職種のお仕事ですか。
【SA】

一番上のお子さんを出産した1年後の職種は、「専門職」が38.7%と最も高く、次いで「事務職」が31.8%、「販売・サービス職」が15.8%となっている。



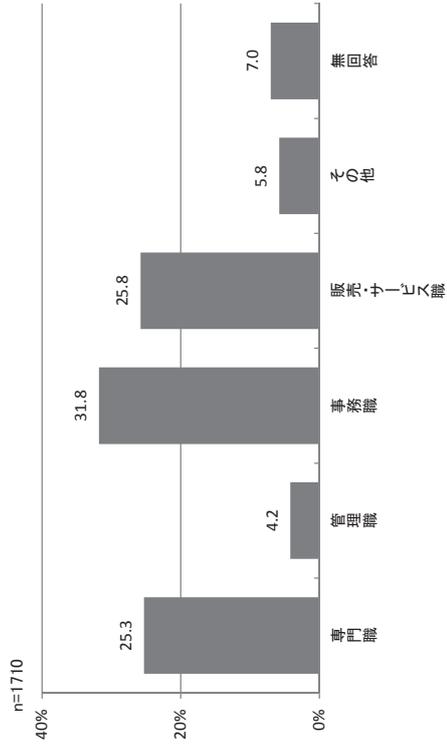
問20(4) 一番上のお子さんが小学校6年生の時
【SA】

一番上のお子さんが小学校6年生の時の就業状況は、「働いていなかった」が46.7%と最も高く、次いで「パートタイムで就業」が29.0%、「フルタイムで就業」が15.8%となっている。



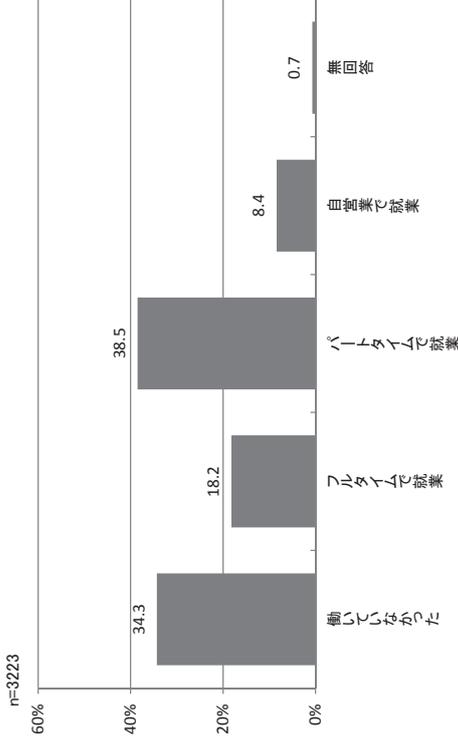
問20(4)SQ どのような職種のお仕事ですか。
【SA】

一番上のお子さんが小学校6年生の時の職種は、「事務職」が31.8%と最も高く、次いで「販売・サービス職」が25.8%、「専門職」が25.3%となっている。



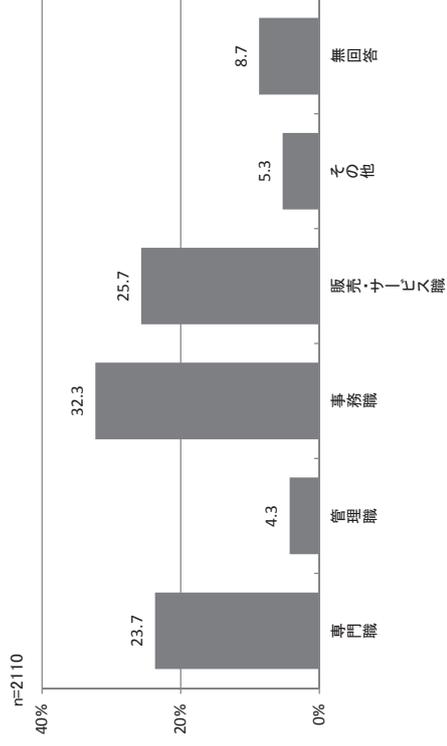
問20(5) 一番上のお子さんが中学校3年生の時
【SA】

一番上のお子さんが中学校3年生の時の就業状況は、「パートタイムで就業」が38.5%と最も高く、次いで「働いていなかった」が34.3%、「フルタイムで就業」が18.2%となっている。



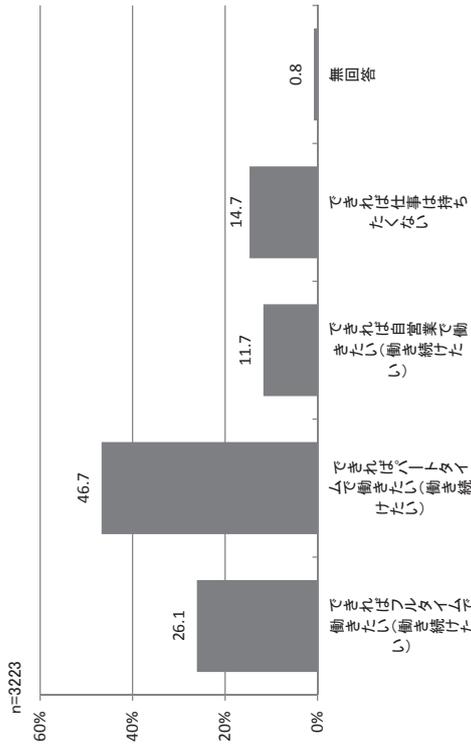
問20(5)SQ どのような職種のお仕事ですか。
【SA】

一番上のお子さんが中学校3年生の時の職種は、「事務職」が32.3%と最も高く、次いで「販売・サービス職」が25.7%、「専門職」が23.7%となっている。



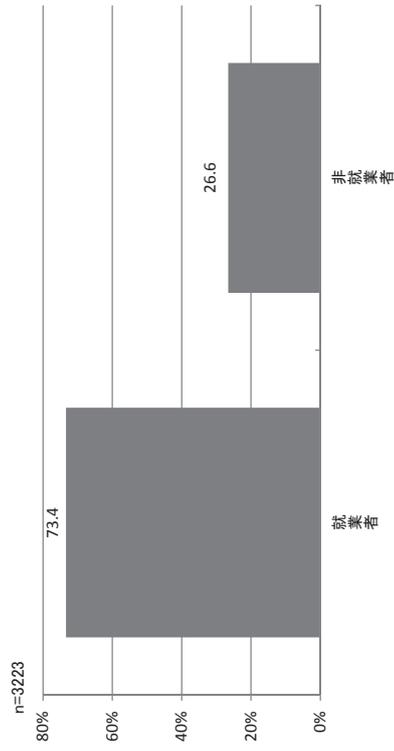
問21 あなたは仕事をすることに、現在どのようにお考えですか。
【SA】

仕事をすることに現在の考えは、「できればパートタイムで働きたい」が46.7%と最も高く、次いで「できればフルタイムで働きたい」が26.1%、「できれば仕事は持たたくない」が14.7%となっている。



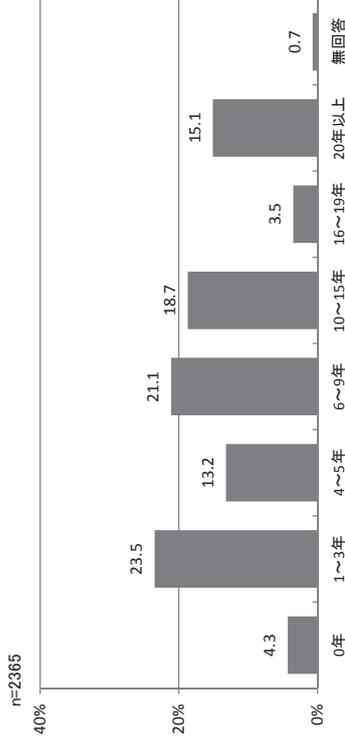
問22 就業・非就業
【SA】

「就業者」が73.4%となっている。



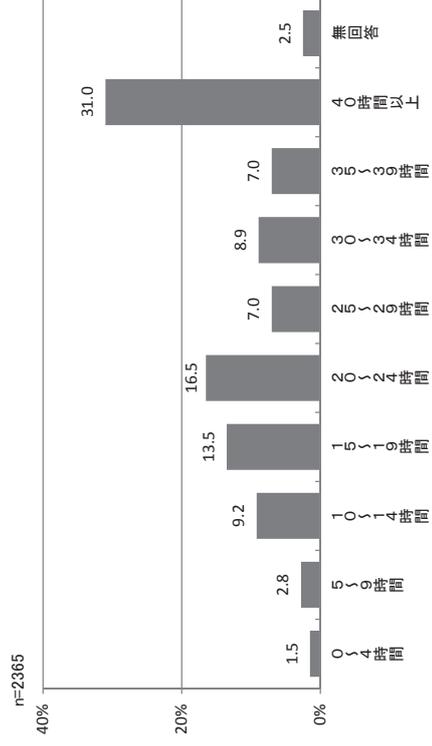
問22(1) あなたは、今の勤務先あるいは自営業の仕事で、何年働いていらっしゃいますか。
【SA】

現在の仕事の勤続年数は、「1～3年」が23.5%と最も高く、次いで「6～9年」が21.1%、「10～15年」が18.7%、「16～19年」が3.5%、「20年以上」が0.7%となっている。



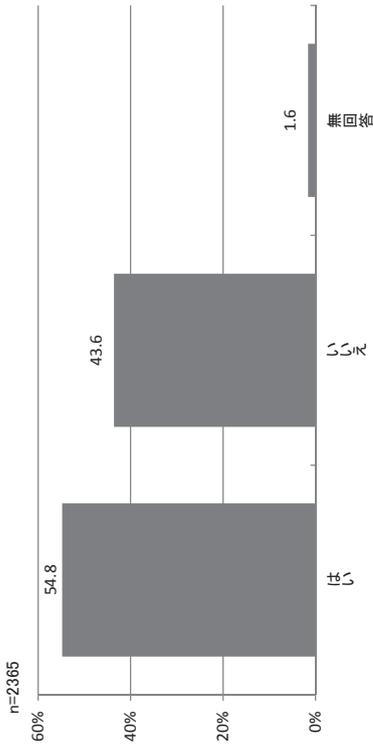
問22(2) あなたの1週間の1週間の合計労働時間はどのくらいですか(残業時間も含まれます)。
【SA】

1週間の合計労働時間は、「40時間以上」が31.0%と最も高く、次いで「20～24時間」が16.5%、「15～19時間」が13.5%となっている。



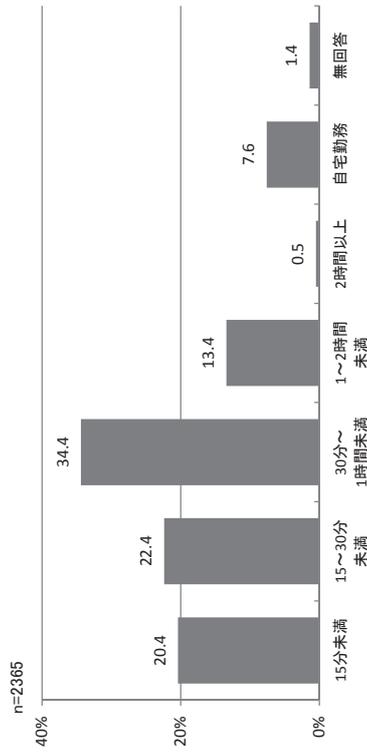
問22(3) あなたの勤務先は、世田谷区内ですか。
【SA】

勤務先は、世田谷区内が54.8%となっている。



問22(4) あなたの勤務先まで、ご自宅から片道どれくらい時間がかかりますか。
【SA】

自宅から勤務先までの片道時間は、「30分～1時間未満」が34.4%と最も高く、次いで「15分～30分未満」が22.4%、「15分未満」が20.4%となっている。



問22(5) あなたは勤務先からの帰宅時間が、午後9時以降になる日は、週にどのくらいありますか。
【SA】

勤務先からの帰宅時間が午後9時以降になる日は、「めったにない」が77.9%と最も高く、次いで「週に1日くらい」が6.0%、「週に2日くらい」が4.9%となっている。

